

メーターユニット 接続金具 O リング取替方法

メーカー名	参考 ページ
九州積水工業(株)	P2～3
(株)光明製作所	P4～5
(株)タブチ	P6～12
(株)ダンレイ	P13～17
(株)日邦バルブ	P18～26
(株)ベン	P27
前澤給装工業(株)	P28～39

## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

### 【MUK, MUK2, MUK3の場合】

1. ユニオンナットと減圧弁(又は止水栓)の接続を解く



取り外し後

2. 一次側台座の小ねじ(2ヶ所)をプラスドライバーを用い取り外す



一次側台座

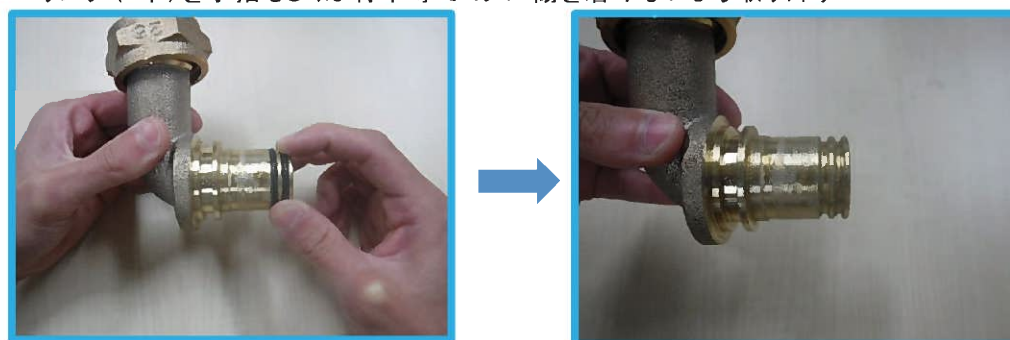
取り外し後

3. ユニオン部を一次側台座より引っ張り取り外す



ユニオン部

4. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は水洗後にウエス等で拭き取る

2019年3月25日

メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

## 【MUK, MUK2, MUK3の場合】

5. 右記の当社製リング(2本)にシリコングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ手指でリングミゾに装着する



呼び径	リング
13	JASO 2022
20	JASO 2022
25	JASO 2026

6. 取り外し工程1. ~3. の逆の手順で組付ける



ユニオン部差込み



小ねじ(2本) ドライバーで固定



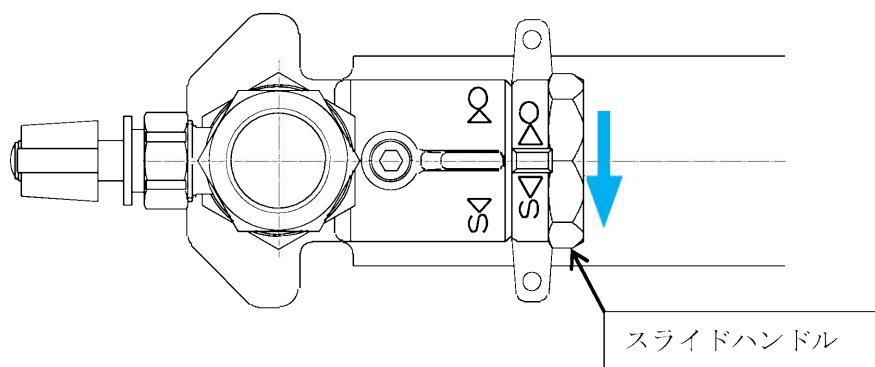
完了

以上

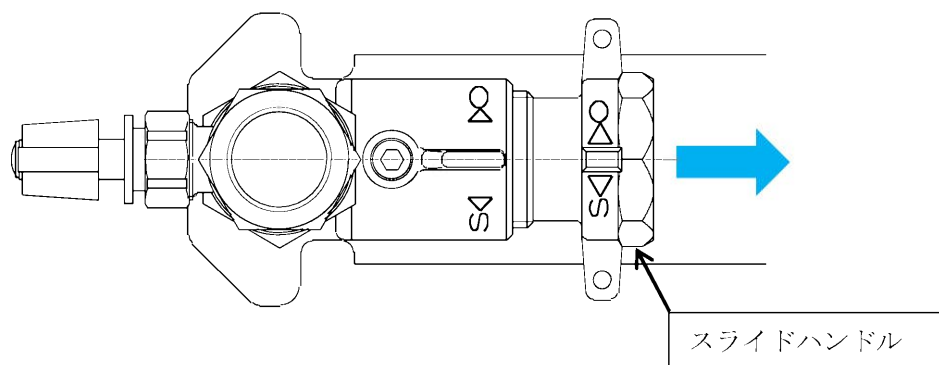
### メータユニット Oリング交換方法

型式：MB17～MB24（識別溝がない場合）

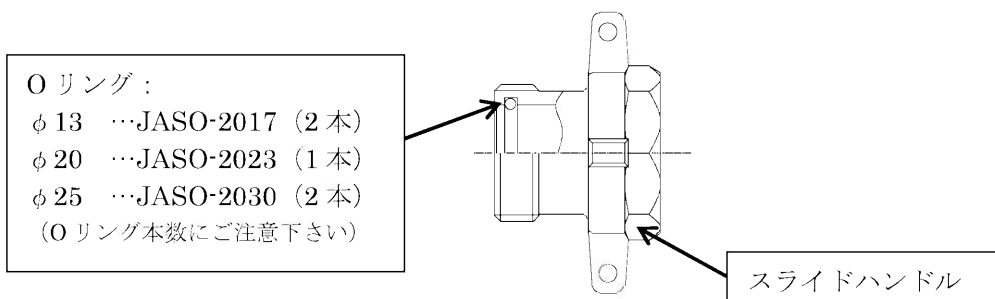
①一次側のスライドハンドルを二次側へ向かって右へ回す。（上からの図）



②スライドハンドルが出てくる。



③スライドハンドルを抜きとり、内側にあるOリングを交換する。  
・古いOリングを外し、取付け溝の水垢などを清潔なウエスで除去する。  
・新しいOリングにシリコングリス（オイルコンパウンド）を塗布し、溝に装着する。

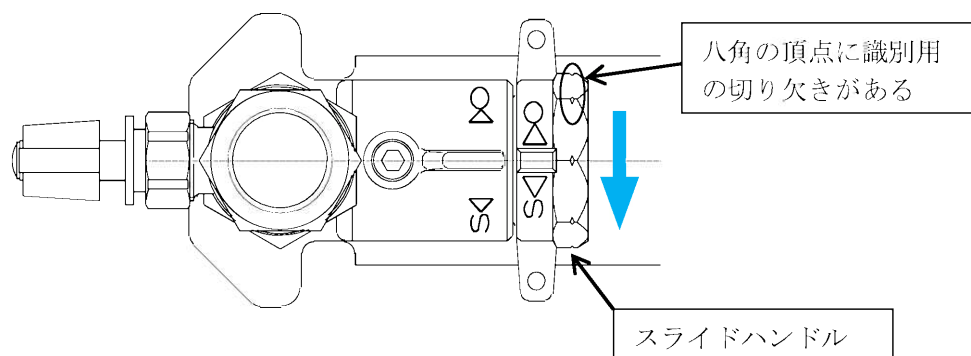


④スライドハンドルを元通りに戻す。

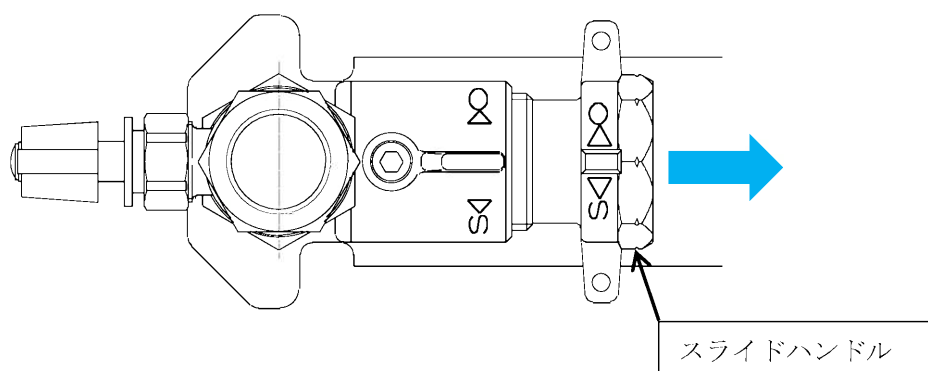
### メータユニット Oリング交換方法

型式：MB17～MB24（識別溝がある場合）

①一次側のスライドハンドルを二次側へ向かって右へ回す。（上からの図）

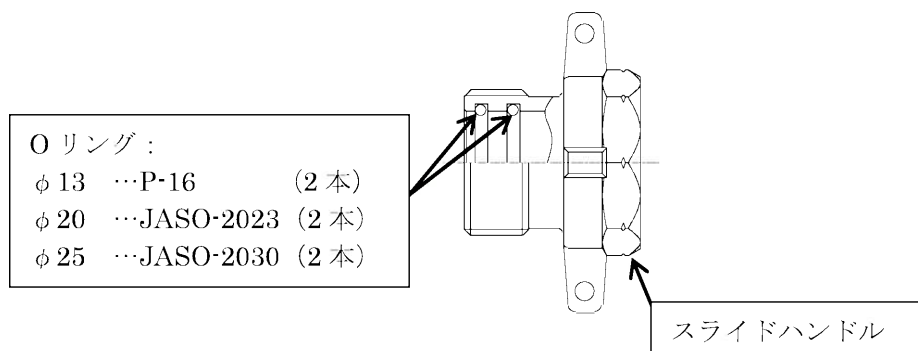


②スライドハンドルが出てくる。



③スライドハンドルを抜きとり、内側にあるOリングを交換する。

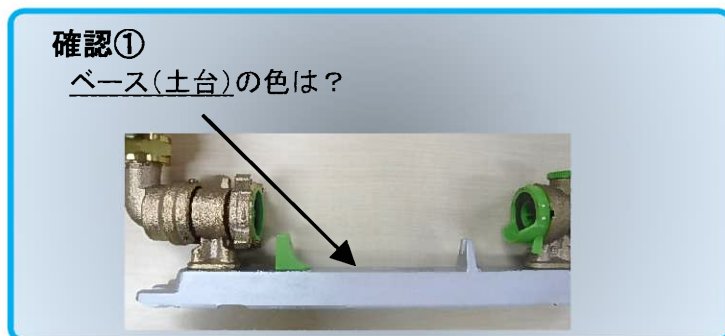
- ・古いOリングを外し、取付け溝の水垢などを清潔なウエスで除去する。
- ・新しいOリングにシリコングリス（オイルコンパウンド）を塗布し、溝に装着する。



④スライドハンドルを元通りに戻す。

## メータユニットの伸縮部Oリングの確認方法

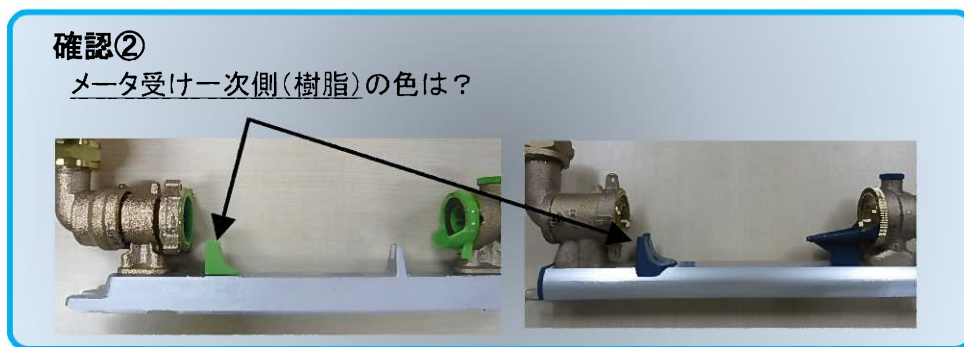
(株)タブチ



銀色

黒色

対象品番: MUT  
伸縮部のOリングは取り外しが不可能な為、  
メータユニット全体の交換が必要です



緑色

紺色

対象品番: MUK4

Oリング:

呼び径13 P-21

呼び径20 P-21

対象品番: MUK, MUK2, MUK3

Oリング:

呼び径13 JASO 2022

呼び径20 JASO 2022

呼び径25 JASO 2026

## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

### 【MUK, MUK2, MUK3の場合】

1. ユニオンナットと減圧弁(又は止水栓)の接続を解く



取り外し後

2. 一次側台座の小ねじ(2ヶ所)をプラスドライバーを用い取り外す



一次側台座

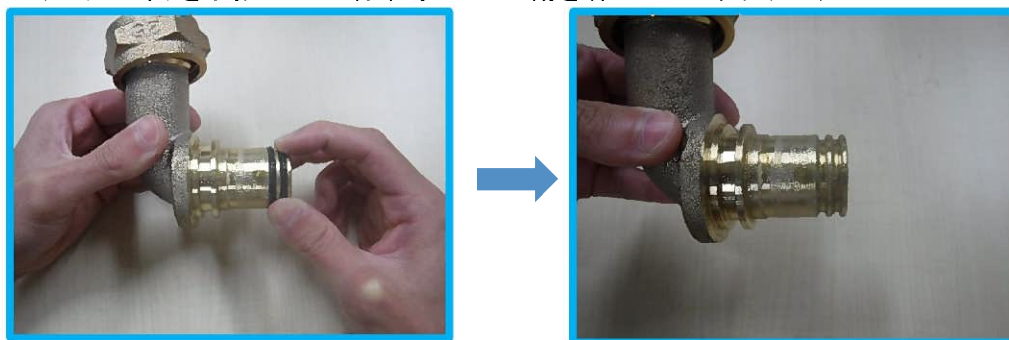
取り外し後

3. ユニオン部を一次側台座より引っ張り取り外す



ユニオン部

4. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は  
水洗後にウエス等で拭き取る

## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

【MUK, MUK2, MUK3の場合】

5. 右記の当社製リング(2本)にシリコーングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ手指でリングミゾに装着する



呼び径	リング
13	JASO 2022
20	JASO 2022
25	JASO 2026

6. 取り外し工程1. ~3. の逆の手順で組付ける



ユニオン部差込み



小ねじ(2本) ドライバーで固定



完了

以上



## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

### 【MUK4の場合】

1. メータ受け一次側を指で引張り取り外す



2. 送りハンドルを”S”方向に回し取り外す



3. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は  
水洗後にウエス等で拭き取る

4. 右記の当社製Oリング(2本)にシリコーングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ  
手指でOリングミゾに装着する



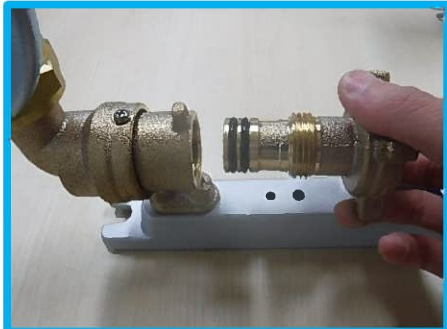
呼び径	Oリング
13	P-21
20	P-21

## メータユニットの伸縮部Oリングの交換方法

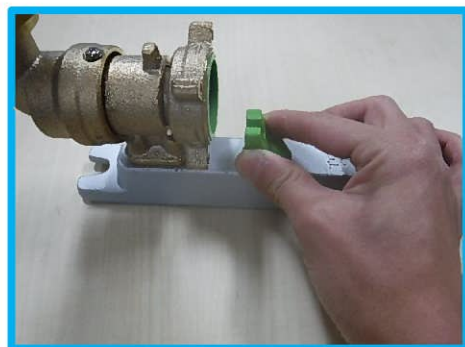
(株)タブチ

### 【MUK4の場合】

5. 取り外し工程1. ~2. の逆の手順で組付ける



送りハンドルねじ込み



メータ受け一次 差込み



完了

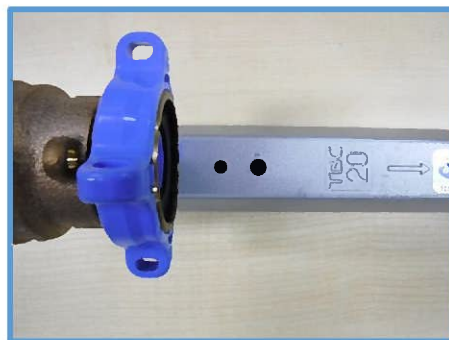
以上

## メータユニットの伸縮部Oリングの交換方法

(株)タブチ

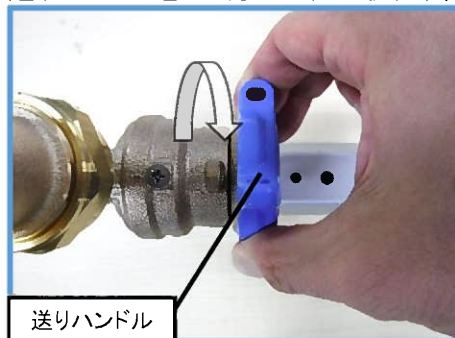
### 【MUK5の場合】

1. メータ受け一次側を指で引張り取り外す



取り外し後

2. 送りハンドルを”S”方向に回し取り外す



取り外し後

3. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



取り外し後

※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は  
水洗後にウエス等で拭き取る

4. 右記の当社製Oリング(2本)にシリコーングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ  
手指でOリングミゾに装着する



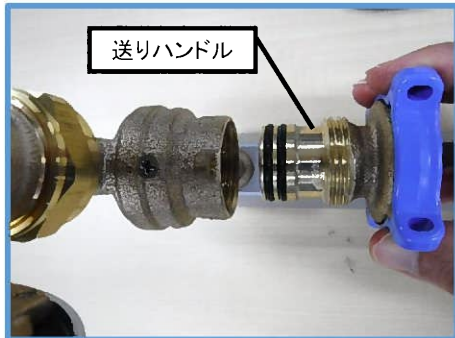
呼び径	Oリング	材質
13	P-16	NBR
20	JASO 2023	NBR
25	JASO 2030	NBR

## メータユニットの伸縮部Oリングの交換方法

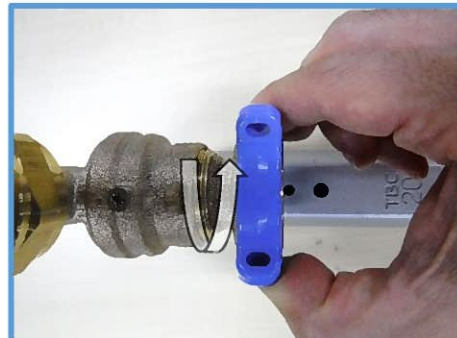
(株)タブチ

### 【MUK5の場合】

5. 取り外し工程1. ~2. の逆の手順で組付ける



送りハンドルを差込み



送りハンドルを〇方向に回しねじ込み



メータ受け一次側 差込み



完了

以上



## メータユニット スライド管 オリング交換手順

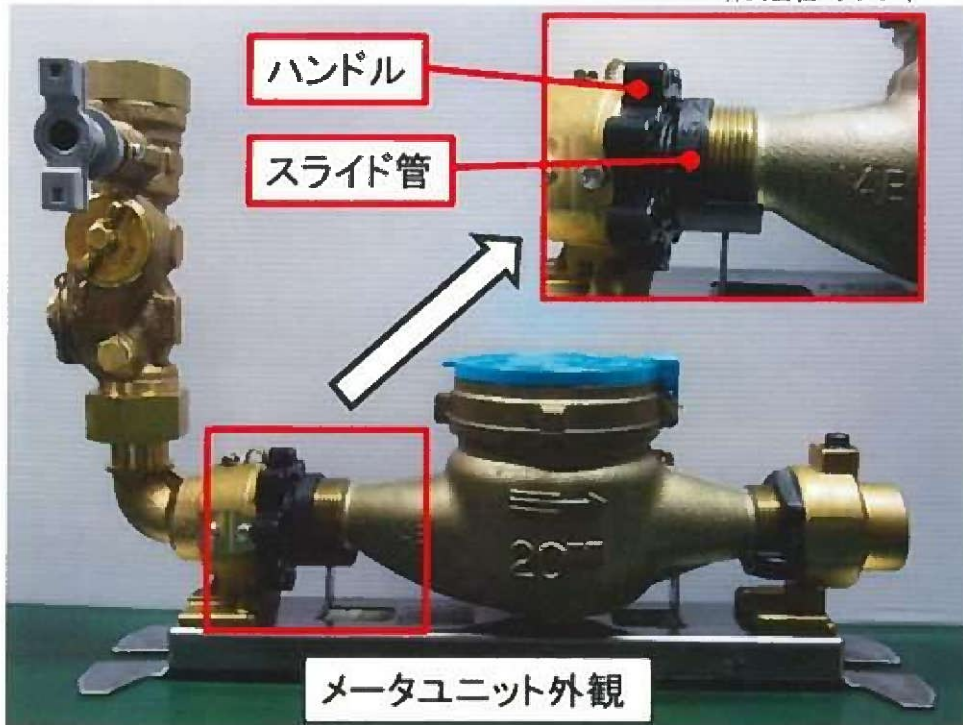
HOME / 集合住宅設備事業 / メータユニット スライド管 オリング交換手順



当社製メータユニット『UV2073』、『UV2087』スライド管オリングを交換の際は下記に従い交換してください。

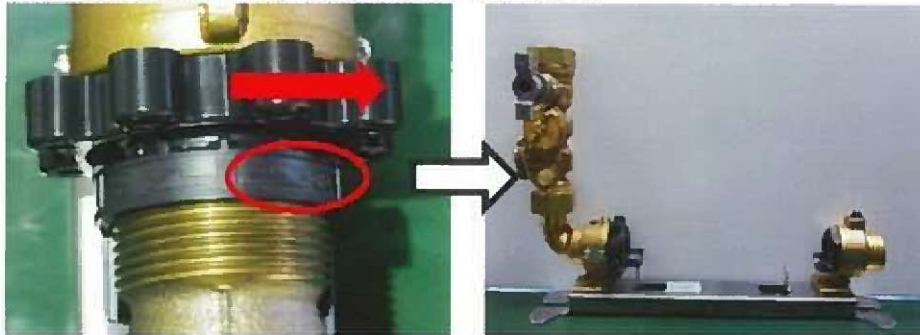
## メータユニット スライド管 Oリング交換手順

株式会社 ダンレイ

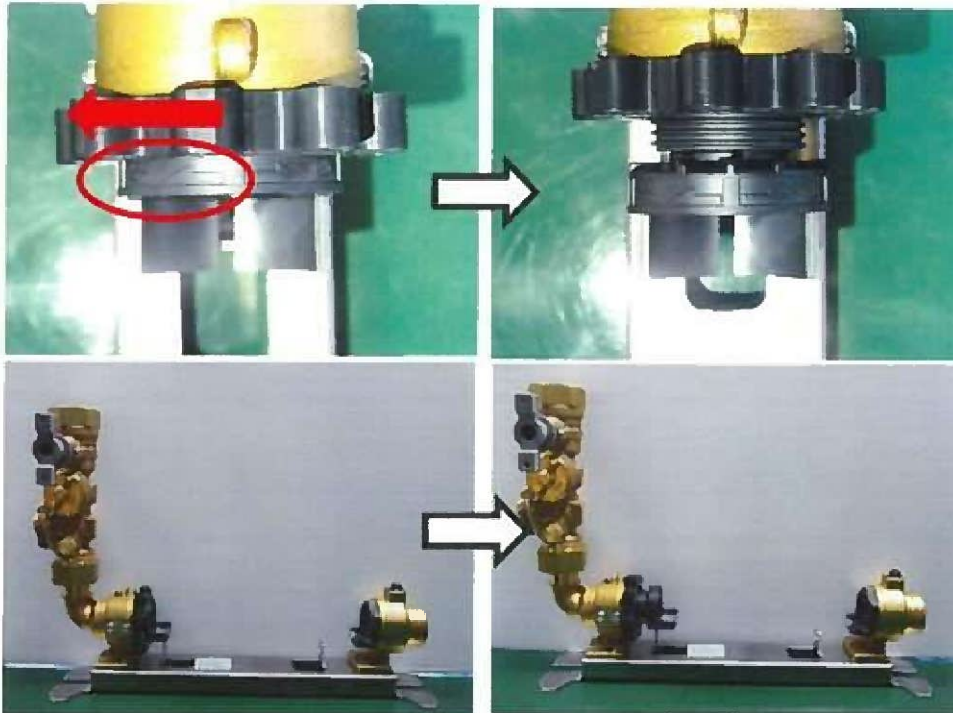


### 交換手順

①ハンドルをOの方向へ回転させ、水道メーターを取り外す。

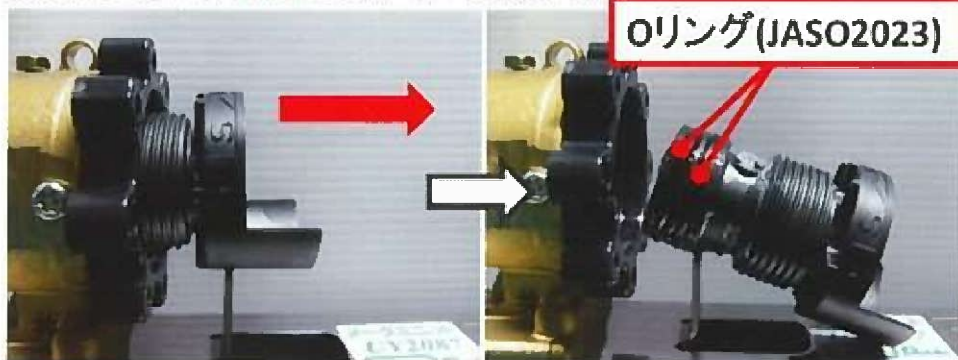


②ハンドルをSの方向へ回転させ、スライド管を緩ませる。



★水道メーターを取り外した状態にて、ハンドルをSの方向へ回転させるとスライド管が緩みます。

③緩ませたスライド管を赤矢印の方向へ引いて、取り外す。



④スライド管のOリング(2個)を交換する。

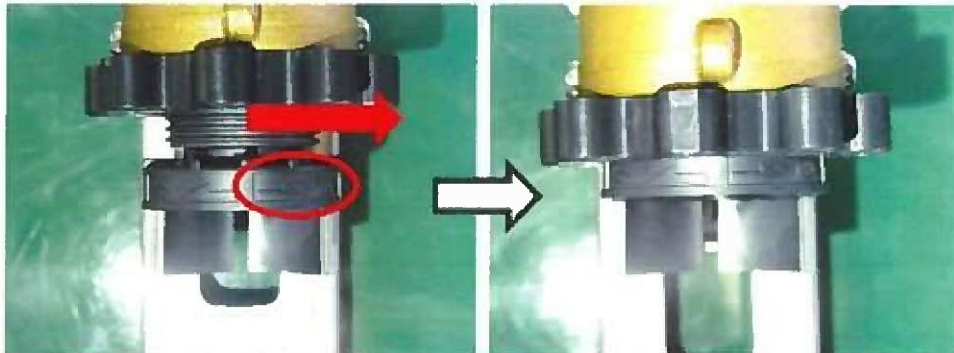
★Oリング交換時の注意点

- ・グリス(KS64)を塗布したOリングを使用して下さい。
- ・Oリング溝を傷つけないように注意して取り外して下さい。
- ・使用しているOリングはJASO2023(材質:NBR)です。

## ⑤Oリング交換後、スライド管をハンドルに取り付ける。

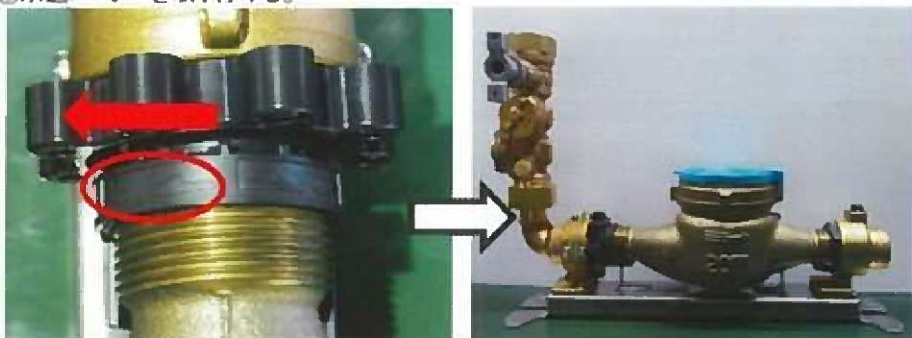


★スライド管をハンドル部に押し込んで下さい。その際、台座の突起部をスライド管に合わせて下さい。



★ハンドルを0の方向へ回転させて、スライド管をハンドルに締めこんで下さい。

## ⑥水道メーターを取り付ける。



★ハンドルをSの方向へ回転させて、水道メーターを取り付けて下さい。



製品に関するお問い合わせは下記まで  
**関東エリア：042-370-2100**  
**関西エリア：06-6760-5551**

受付時間 8:30 - 17:30 [ 土日・祝日除く ]

✉ お問い合わせはこちら ➡  
お気軽にお問い合わせください。

## 年別アーカイブ

2021年

2020年

2019年

## プロフィール



〒253-0061

神奈川県茅ヶ崎市南湖1-10-26

TEL：0467-85-2241

FAX：0467-85-2245



Copyright © 株式会社ダンレイ All Rights Reserved.

Powered by WordPress with Lightning Theme & VK All in One Expansion Unit by Vektor, Inc. technology.



**メータユニット スライドホルダ  
Oリング 交換手順 識別方法**

**対象の呼び径、仕様を選択していくと  
該当のOリング交換手順書が開かれます**

**呼び径 13 はこちら**

**呼び径 20 はこちら**

**呼び径 25 はこちら**



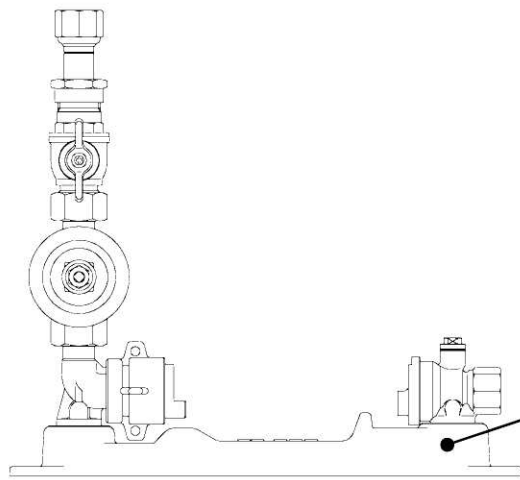
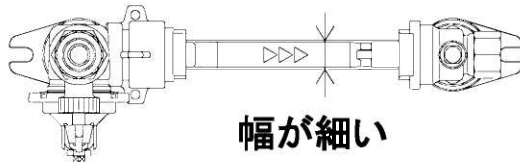
株式会社

日邦バルブ

呼び径 13 (交換方法 2種類)

確認① ベース幅

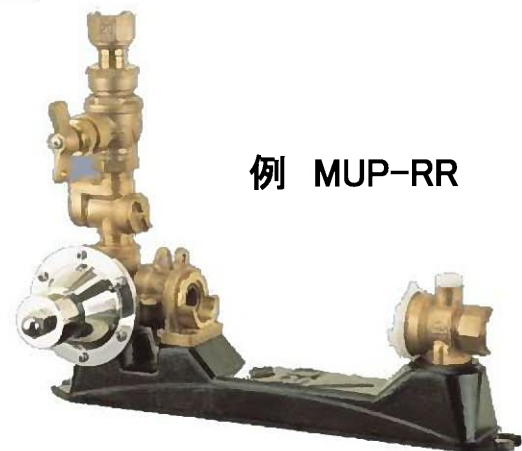
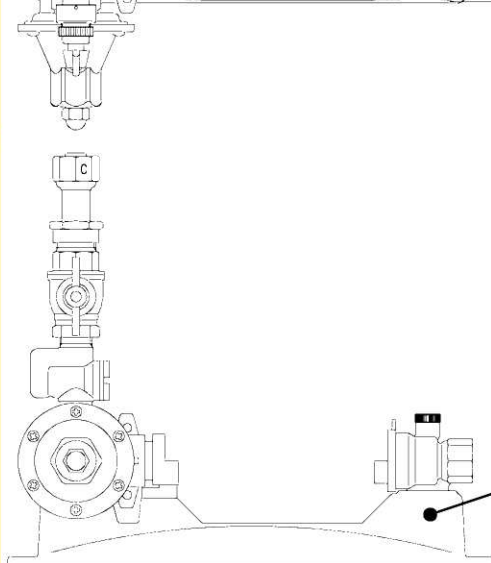
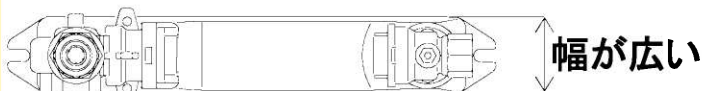
細い (幅 17~20) ... [交換手順 A]



例 RMUP-SG

Oリング : P-20

太い (幅 49~54) ... [交換手順 B]



例 MUP-RR

Oリング : JASO1016

戻る



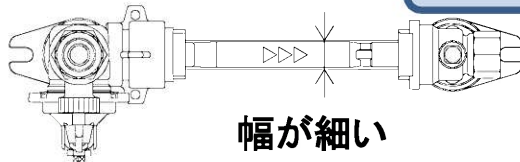
株式会社 日邦バルブ

呼び径 20 (交換方法 3種類)

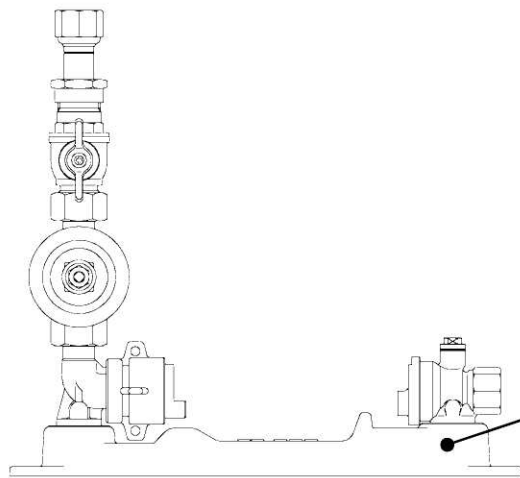
確認① ベース幅

細い(幅 17~20) ...

確認② ASSY の接続形状 ^



幅が細い

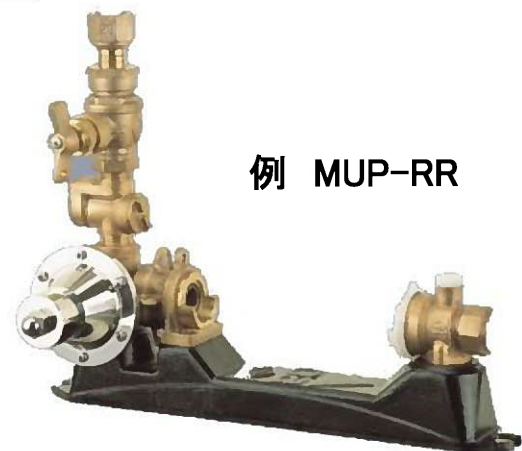
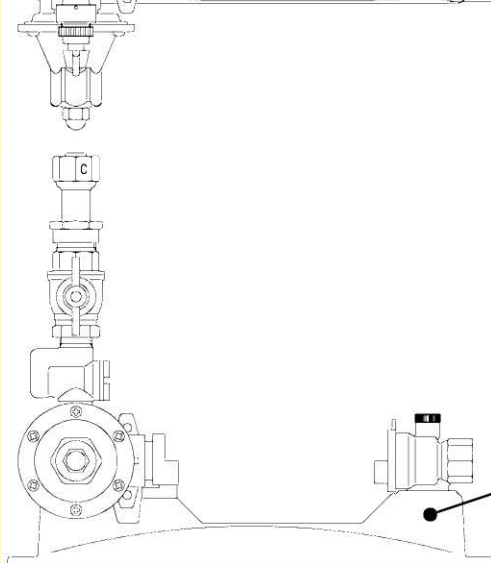


例 RMUP-SG

太い(幅 49~54) ... [交換手順 B] ^



幅が広い



例 MUP-RR

戻る

Oリング : JASO2023



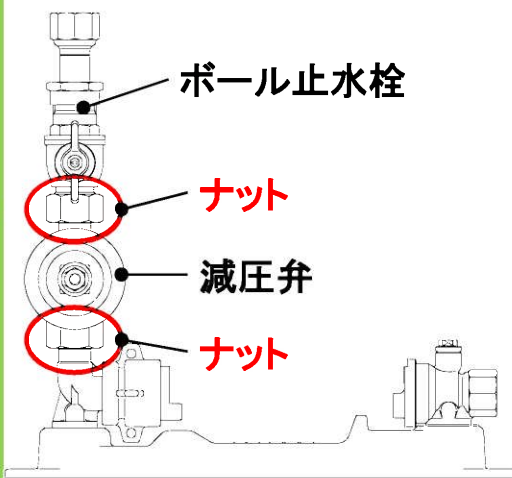
株式会社 日邦バルブ

呼び径 20 (交換方法 3種類)

確認② ASSY の接続形状

ボール止水栓、減圧弁がナットで接続されている ...

[交換手順 A]

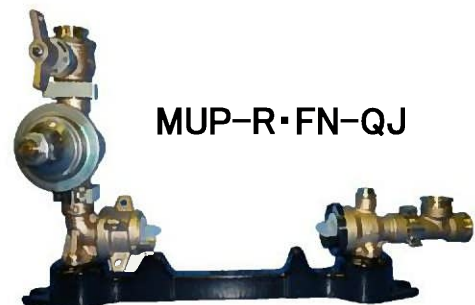
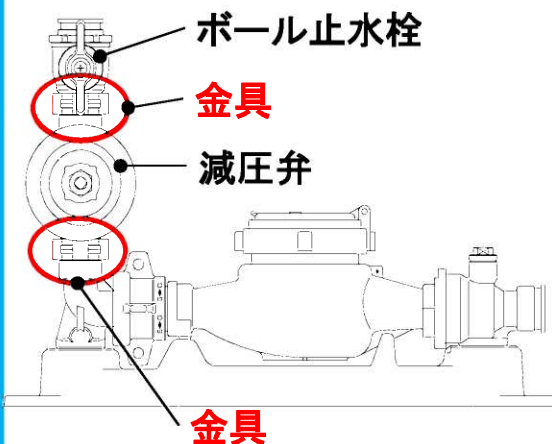


例 RMUP-SG

Oリング : JASO2026

ボール止水栓、減圧弁が金具で接続されている ...

[交換手順 C]



MUP-R·FN-QJ

Oリング : JASO2021 又は P-21

戻る



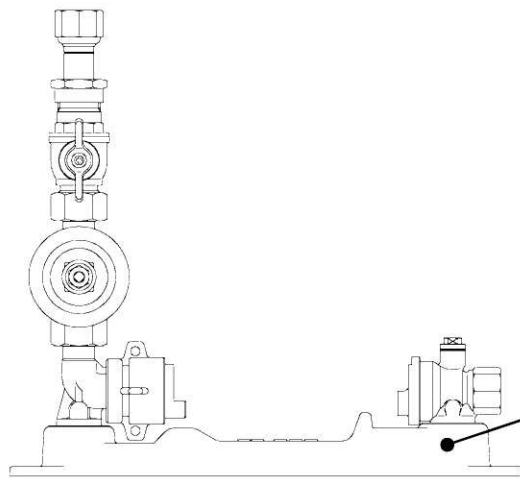
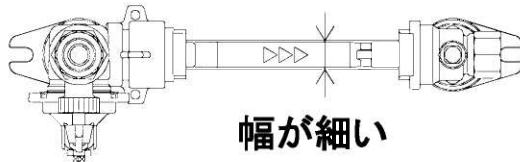
株式会社

日邦バルブ

呼び径 25 (交換方法 2種類)

確認① ベース幅

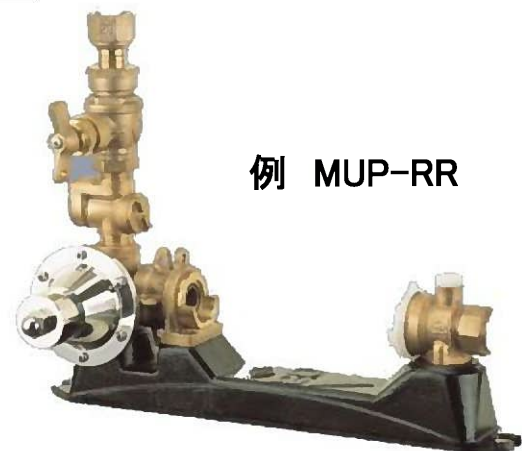
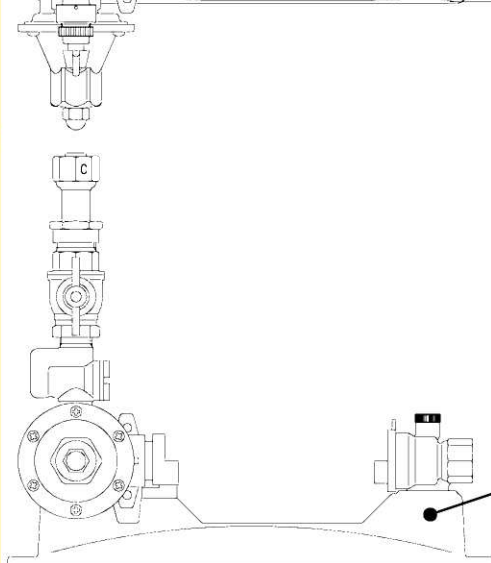
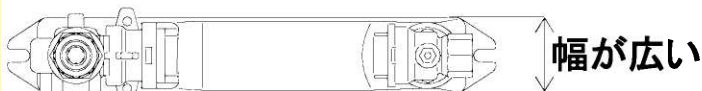
細い(幅 25~29) ... [交換手順 A]



例 RMUP-SG

Oリング : P-34

太い(幅 67~73) ... [交換手順 B]



例 MUP-RR

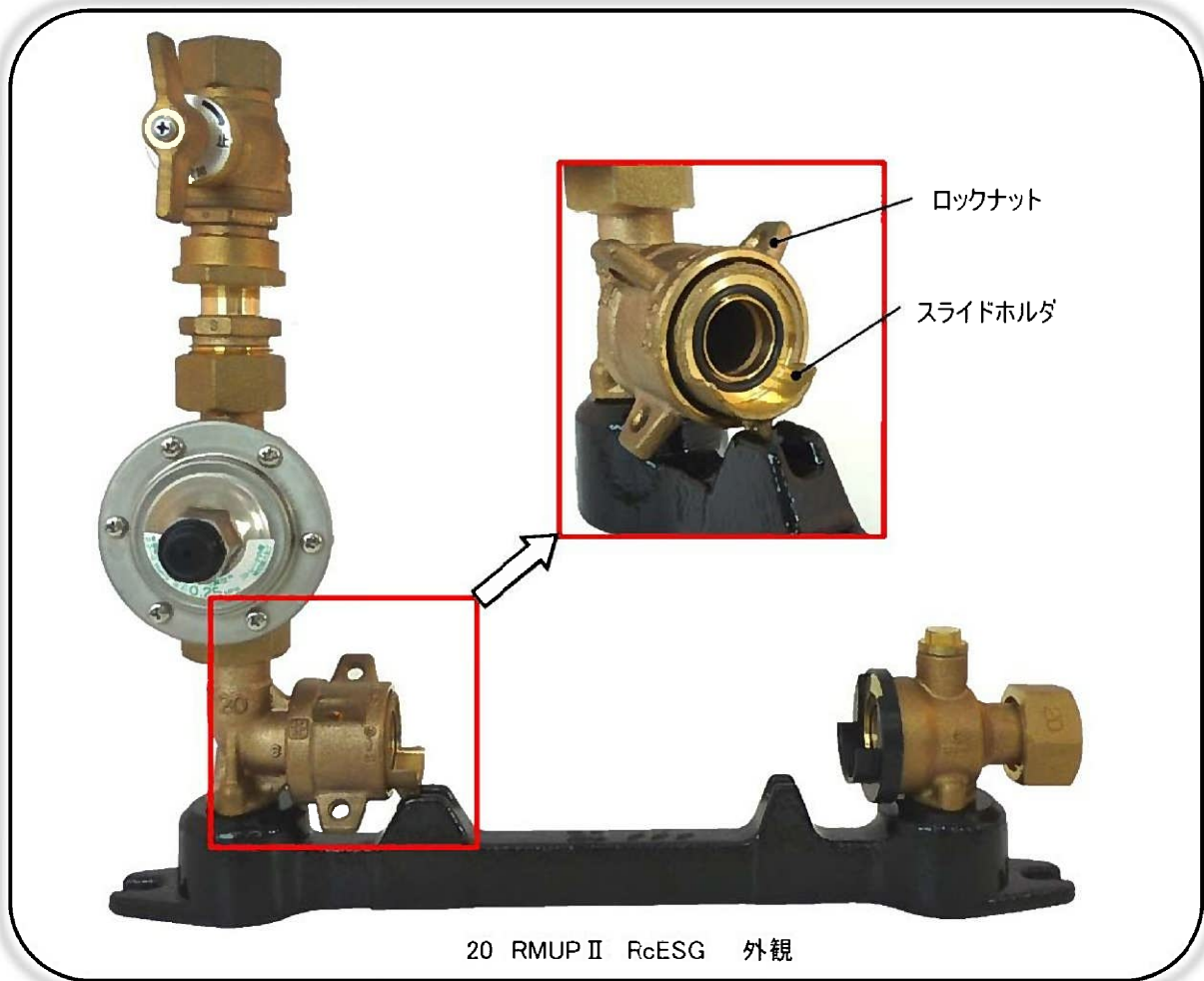
Oリング : P-28

戻る

メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A

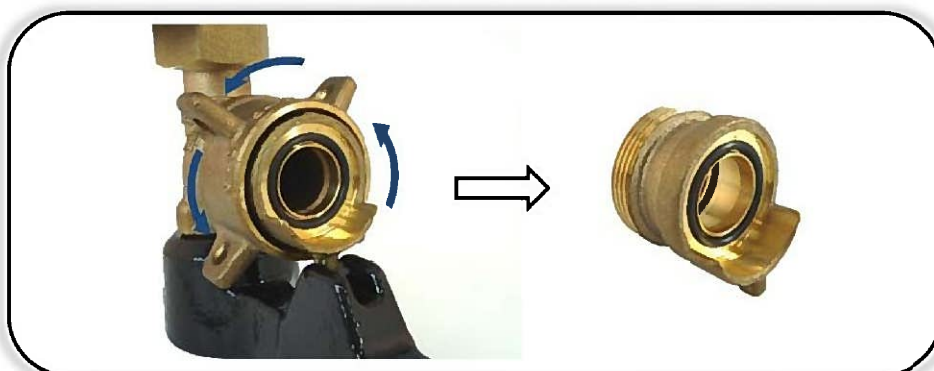
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP II RcESG」で行っていますが、RMUP、SMUP、SMUP II も同様の手順で交換できます。

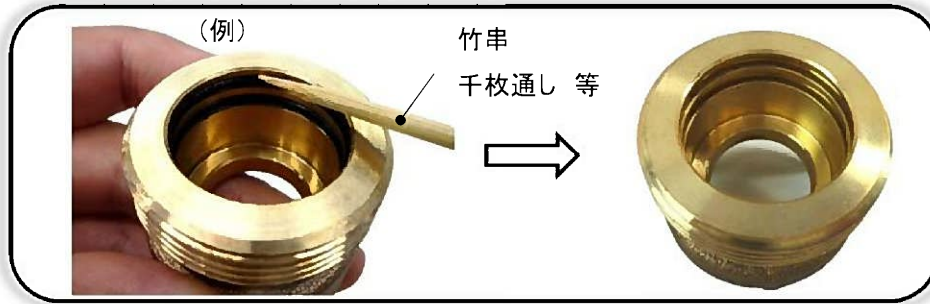


交換手順

1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。

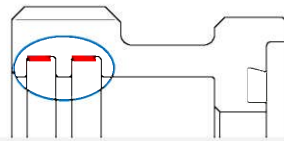


2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて O リングを外す。



(注) 装着されている O リングは **1 本** の場合もあります。

(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中 **○**印内の**赤太線面**に傷つかないように注意する。



(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等)拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングの先端を O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて(**○**印)、ロックナットを**矢印**のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



(注) RMUP、SMUP の場合は、スライドホルダにある目印(**○**印)を下に向け、ロックナット内にある回り止めを探りながらロックナットを回し、スライドホルダを後退させる。

目印を下に向ける。

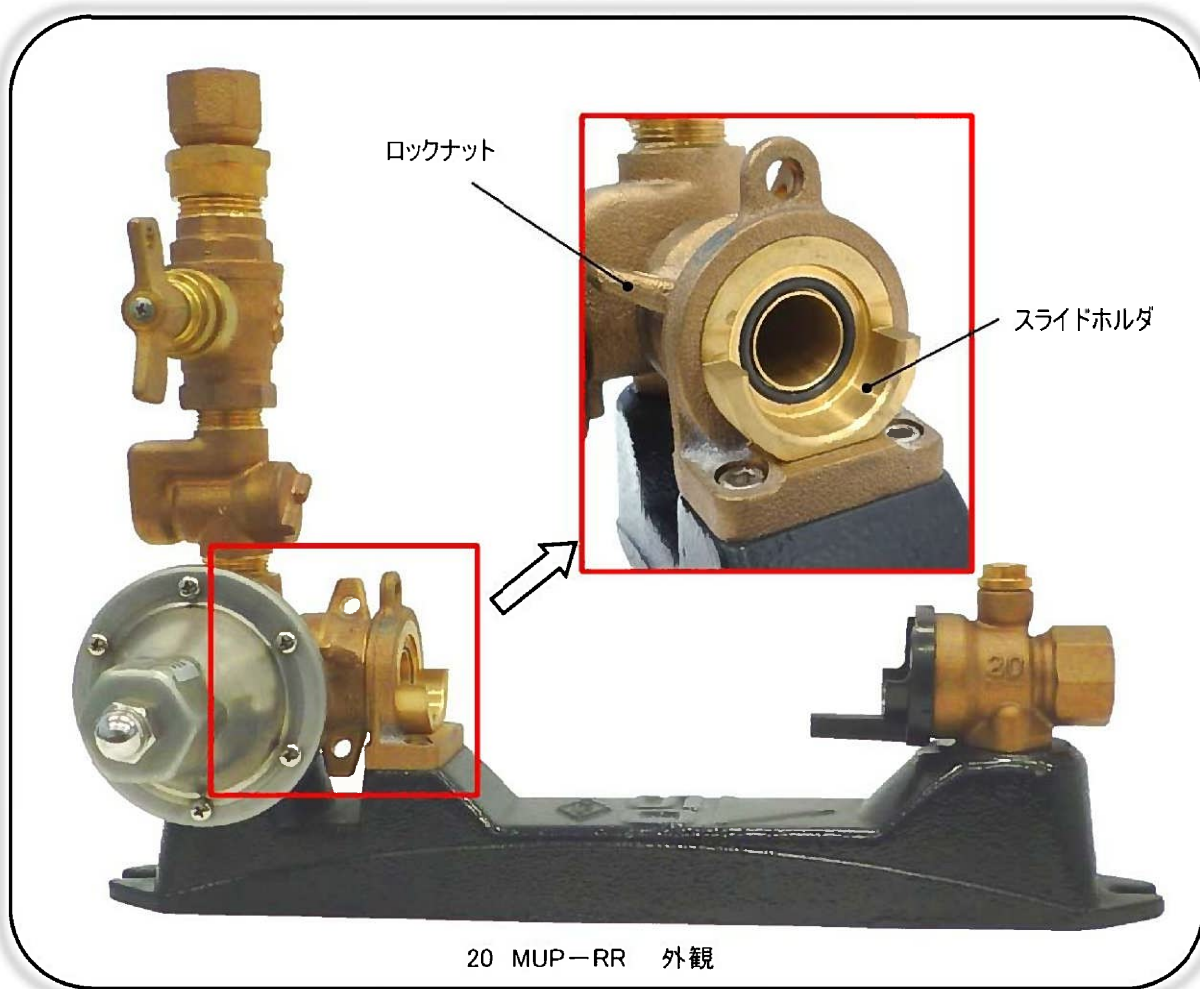




メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B

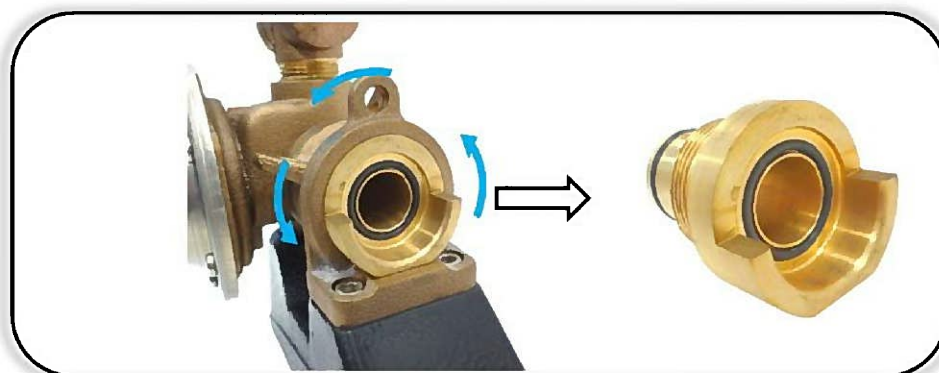
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 MUP-RR」で行っていますが、MUP-RL、MUP-VAS 等も同様の手順で交換できます。

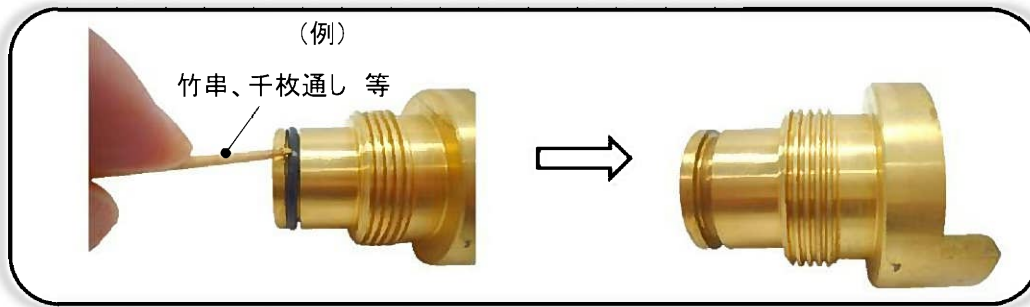


交換手順

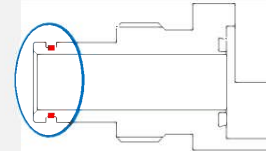
1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて O リングを外す。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中  
○印内の赤太線面に傷がつかないように注意する。

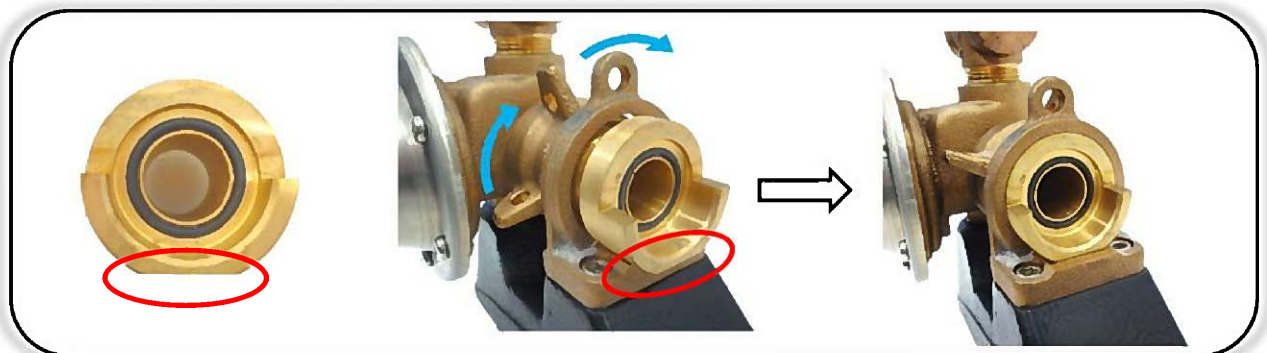


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜 (綿棒、ウエス等) 拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングを O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、平面部を下側にして(○印)、ロックナットを矢印のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



	型 式	ロット記号	Oリング規格
2007～2009.9	RMU-4	G1	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	RMU-4	G3	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	RMU-4	G7	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	RMU-4	GX	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	BMU-4	F24	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	BMU-4	F53	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	RMU-4E	F53	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	BMU-4	F61	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4C	F61	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	BMU-4	FX4	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	FX4	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4C	FZ1	$\phi 21 \times 1.9(2)$
	RMU-4	FZ1	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E13	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E15	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	BMU-4	E24	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E24	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E32	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E33	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	BMU-4	E34	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	BMU-4	E43	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	RMU-4	E44	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
	BMU-4	E55	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$
BMU-4	E62	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$	
BMU-4	E63	$\phi 21 \times 1.9(1) \phi 21.9 \times 2.0(1)$	
2009.9以降			$\phi 21.8 \times 2.4(2)$

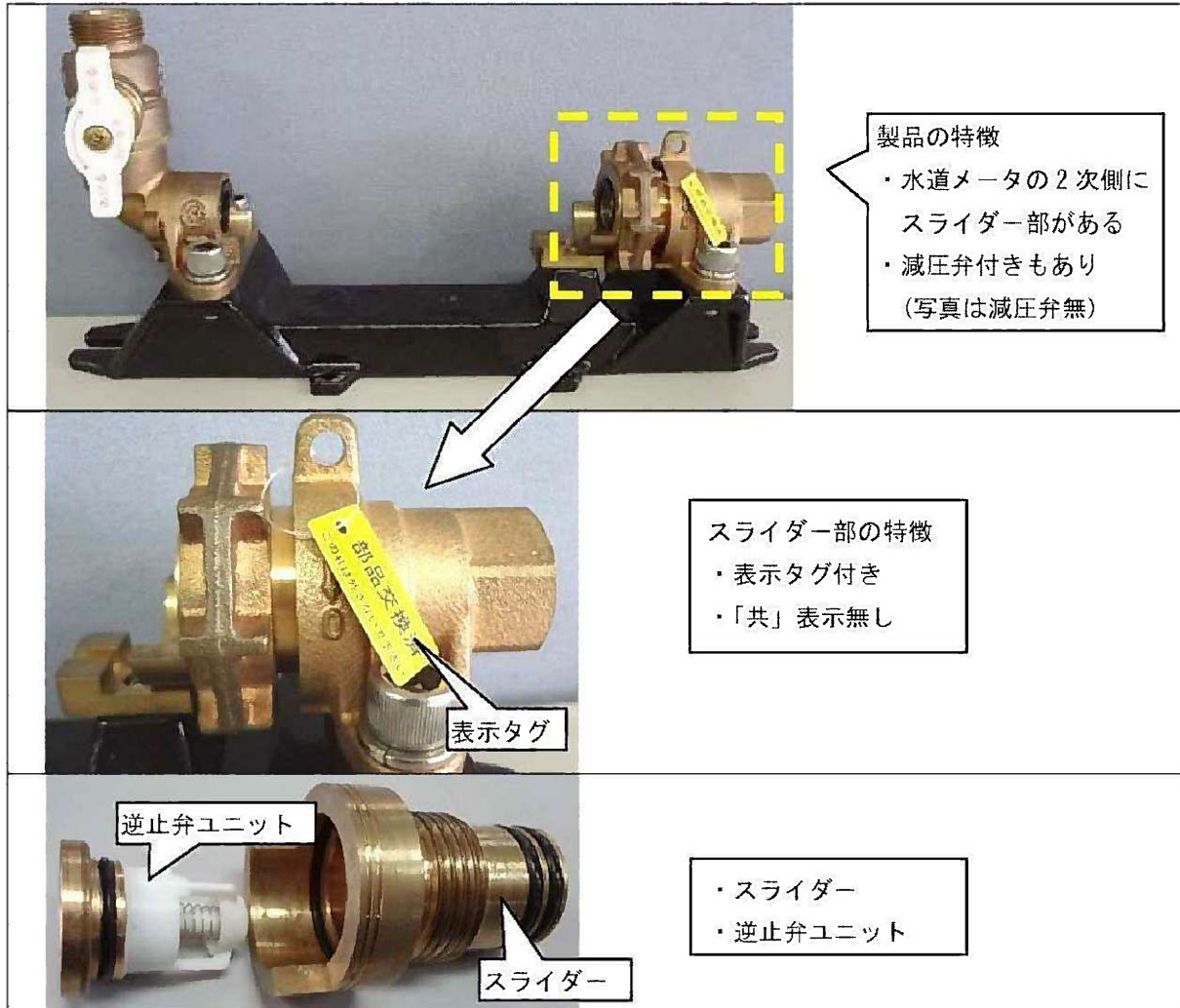
## 前澤給装工業株式会社 メータセット PS-1 メータ接続部 Oリング交換手順書

### 実施内容

弊社メータセット PS-1・メータ接続部・スライダの Oリングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

### 該当製品



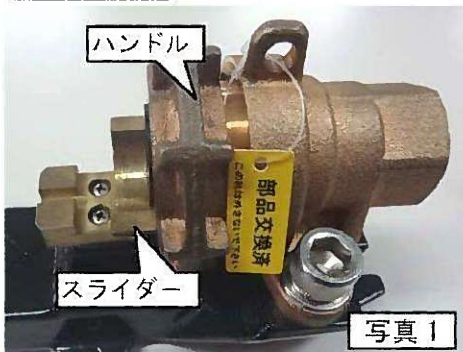
Oリングのサイズ表

呼び径	Oリングサイズ	材質
13	P20 ×2本	NBR 又は EPDM
20	P25 ×2本	NBR 又は EPDM
25	P29 ×2本	NBR 又は EPDM

### 使用工具

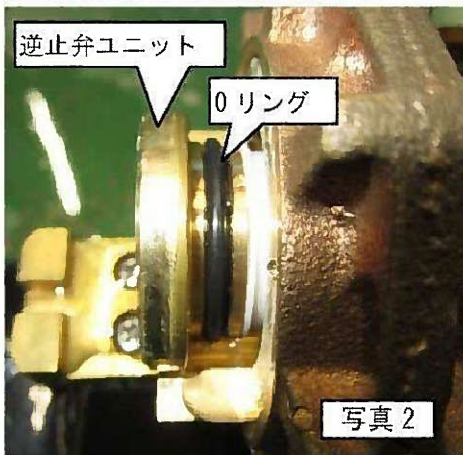
- ①(+)ドライバー：推奨サイズ 呼び番号2 (軸の太さ6mm程度)
- ②(-)ドライバー：推奨サイズ 先端幅3~5.5 (細めの(-)ドライバー)

作業手順

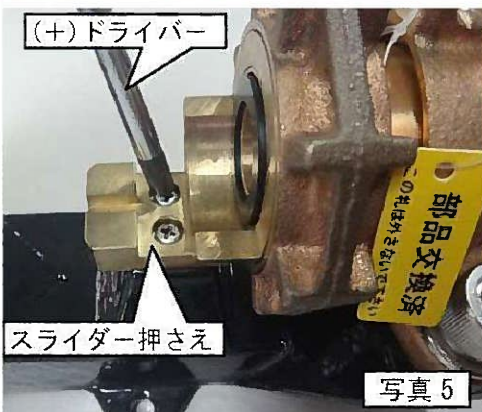
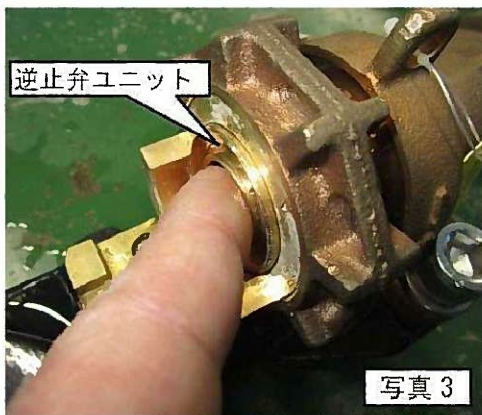


手順1

- ・ハンドルを「0」方向へ回し、スライダーを写真1に示す位置まで戻します。

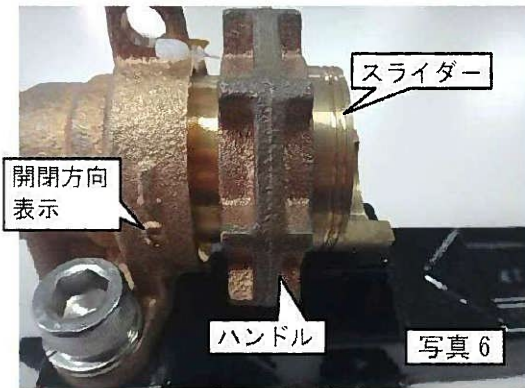


- ・水道メータを取り外した時、2次側の水圧により、逆止弁ユニットが水道メータ側に出て来ます。
- \*この時、2次側の戻り水が発生します。  
(戻り水の量は、配管の状況等によって異なります。)
- ・逆止弁ユニットは、スライダー内部へ再度取り付けます。逆止弁の取り付けは、スライダーに真直ぐ押し込んで下さい。(写真2、3、4)
- \*逆止弁ユニットは0リングで止水を行っていただきますので、再度取り付ける前に0リングにキズ、変形、異物の付着、溝からの0リングのはみ出し等の異常がない事を確認して下さい。(写真2)



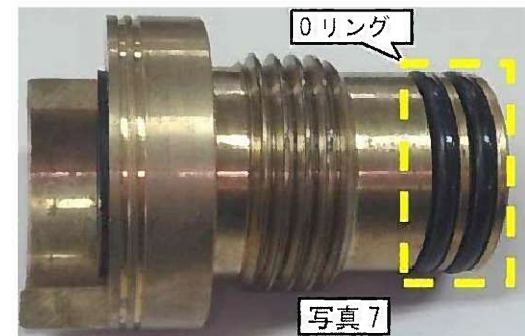
手順2

- ・スライダー押さえを固定しているねじを(+ )ドライバーで取り外します。
- ・ドライバーで外す時に、ねじの頭がなめないようにしっかりと押し付けて回してください。(写真5)



**手順3**

- ・ハンドルを「S」方向へ回し、スライダーを取り外して下さい。(写真6)

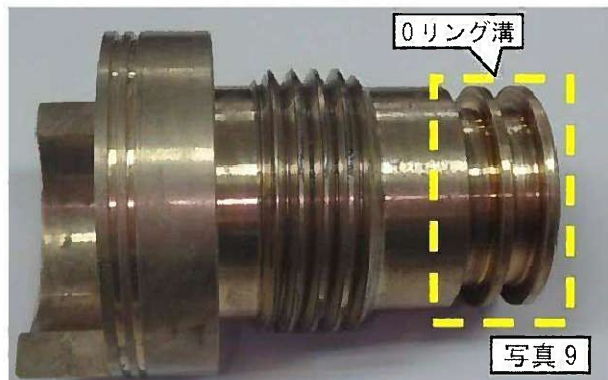
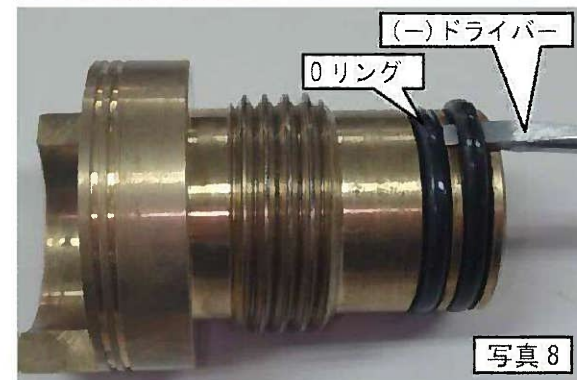


**手順4**

- ・スライダーのOリングを取り外して下さい。  
 (一)ドライバー等を使用してOリングを溝から取り外して下さい。(写真7、8)

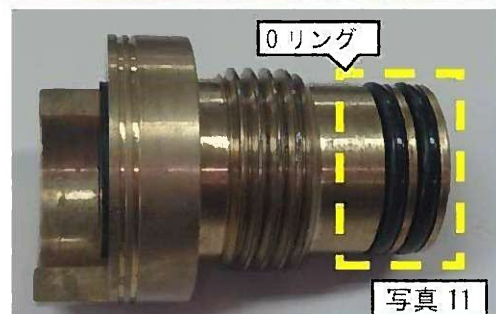
**手順5**

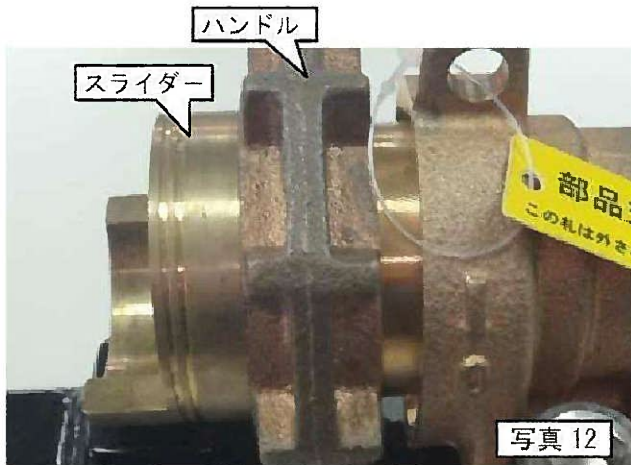
- ・Oリングを取り外したスライダーのOリング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。
- ・Oリング溝に異物が付着している場合には、ペーパータオル等で清掃して下さい。(写真9)



**手順6**

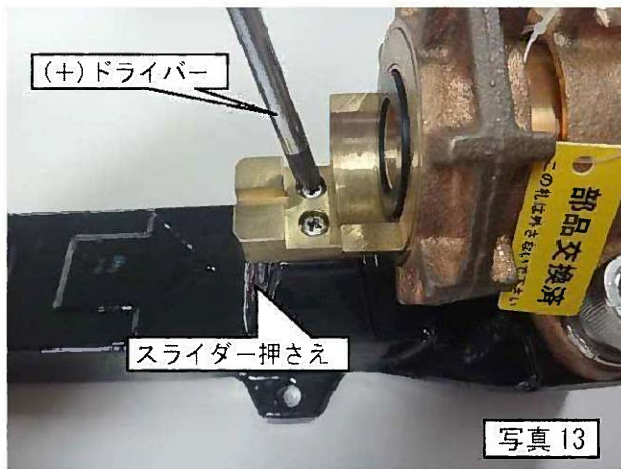
- ・新しいOリングをスライダーのOリング溝に取り付けます。(写真10)
- ・Oリングを取り付け後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真11)





**手順 7**

- ・ハンドルを「0」方向へ回し、スライダーを取り付けて下さい。  
(写真 12)



**手順 8**

- ・スライダー押さえを固定しているねじを、  
(+)ドライバーで取り付けて下さい。  
(写真 13)

以上で0リング交換作業の終了になります。



## 前澤給装工業株式会社 メータセット PS-2/PS-3 メータ接続部 Oリング交換手順書

### 実施内容

弊社メータセット PS-2/PS-3・メータ接続部・スライダの Oリングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1 次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

### 該当製品

<p>GL型 (減圧弁付き)</p> <p>ハンドル</p> <p>GL-Rc</p>	<p>GL型 (減圧弁付き)</p> <p>ハンドル</p> <p>GL型</p>
<p>メータセット PS-2</p>	<p>メータセット PS-3</p>
<p>ハンドル</p> <p>スライダ</p>	<p>ハンドル部の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道メータの1次側</li> <li>・8角形状(4枚羽形状ではない)</li> <li>・ハンドルとスライダが別部品</li> <li>・「共」表示無し</li> </ul>
<p>アンカー固定部 4ヶ所</p>	<p>PS-2 と PS-3 の相違点 (20のみ確認が必要になります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PS-2のベース(台座)には、中央部に4ヶ所のアンカー固定穴有り。</li> </ul>

### Oリングのサイズ表

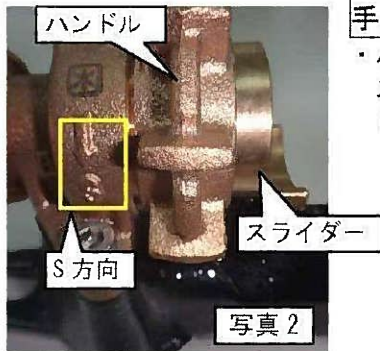
呼び径	型式	Oリングサイズ	材質
13	PS-2・PS-3 兼用	P18 ×1本	NBR 又は EPDM
20	PS-2	P22.4 ×1本	NBR 又は EPDM
	PS-3	P22 ×1本	NBR 又は EPDM
25	PS-2・PS-3 兼用	P28 ×1本	NBR 又は EPDM

### 使用工具

- ①(-)ドライバー：推奨サイズ 先端幅 3~5.5 (細めの(-)ドライバー)

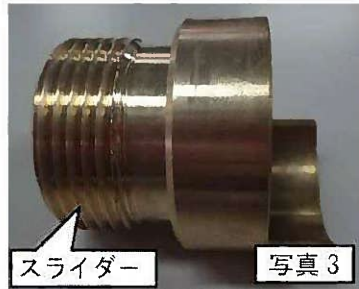


作業手順(PS-2・PS-3 共通)



手順1

- ・ハンドルを表示の「S」方向へ回し、スライダを取り外します。(写真1、2)

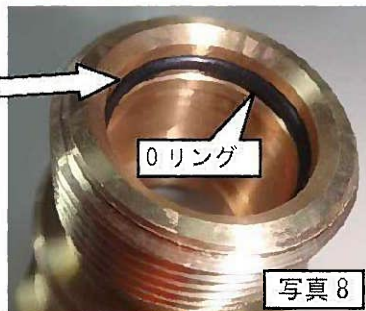
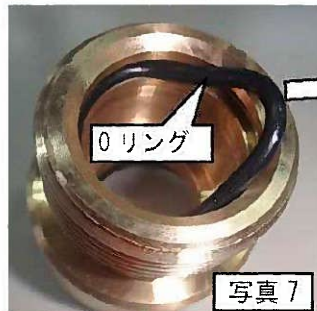
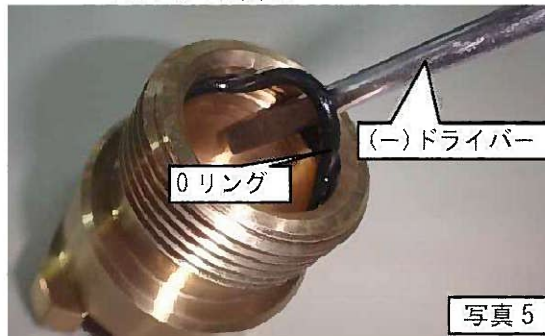


手順2

- ・スライダの内側に付いているOリングを取り外して下さい。Oリングを溝から(-)ドライバー等を使用してOリング溝から取り外して下さい。(写真3、4、5)

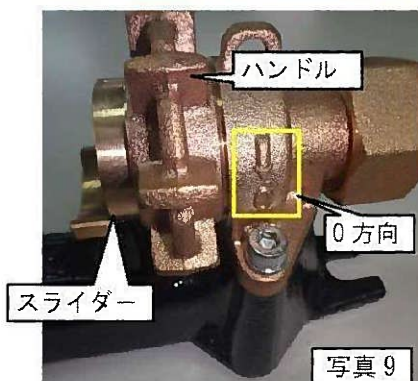
手順3

- ・Oリングを取り外したスライダのOリング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。(写真5)
- ・Oリング溝に異物が付着している場合は、ペーパータオル等で清掃して下さい。(写真6)



手順4

- ・新しいOリングをスライダのOリング溝に取り付けます。(写真7)
- ・Oリングを取り付け後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真8)



手順5

- ・ハンドルを表示の「0」方向へ回し、スライダに取り付けます。(写真9)

以上でOリング交換作業の終了になります。

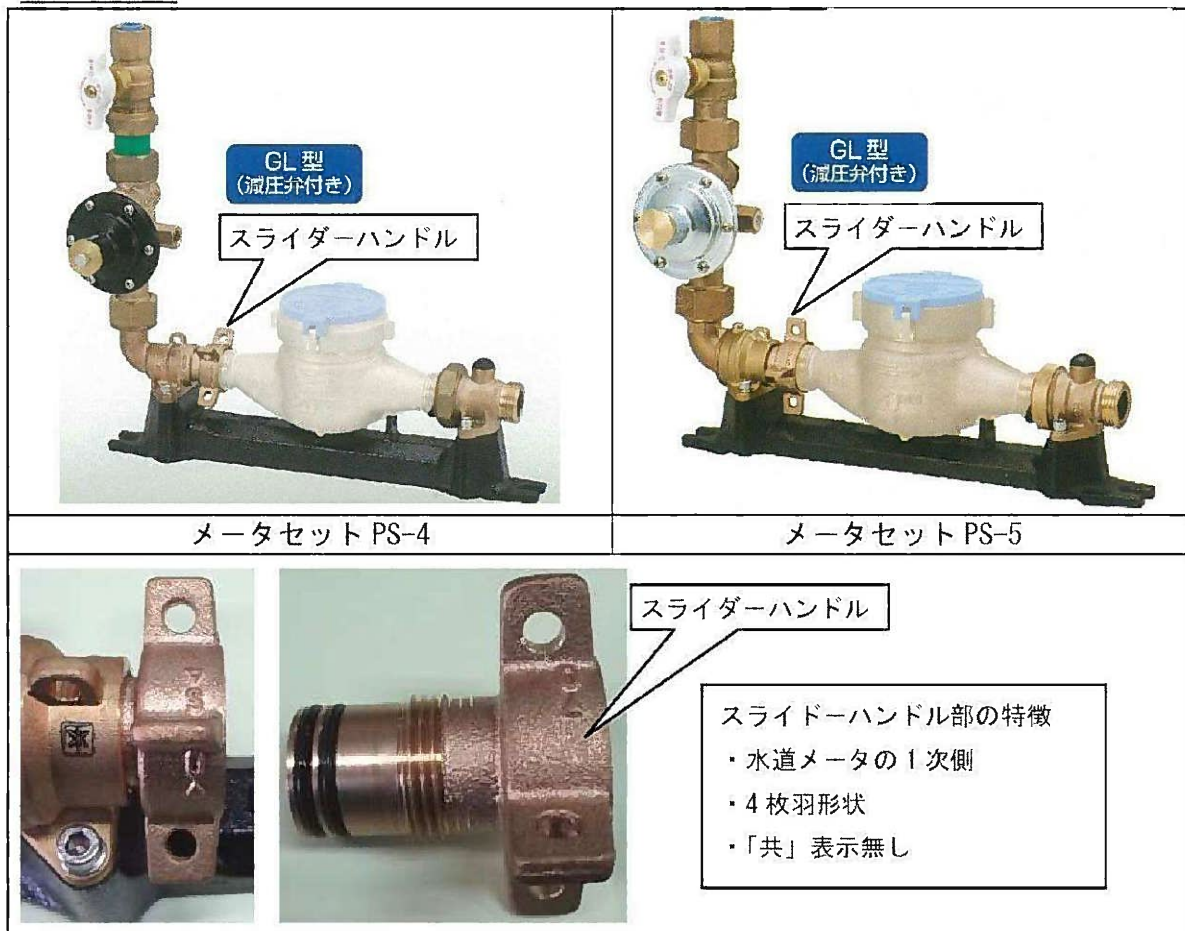
## 前澤給装工業株式会社製メータセット PS-4/PS-5 メータ接続部 Oリング交換手順書

### 実施内容

弊社メータセット PS-4/PS-5・メータ接続部・スライダ－ハンドル の Oリングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

### 該当製品



メータセット PS-4

メータセット PS-5

スライダ－ハンドル

スライダ－ハンドル部の特徴

- ・水道メータの1次側
- ・4枚羽形状
- ・「共」表示無し

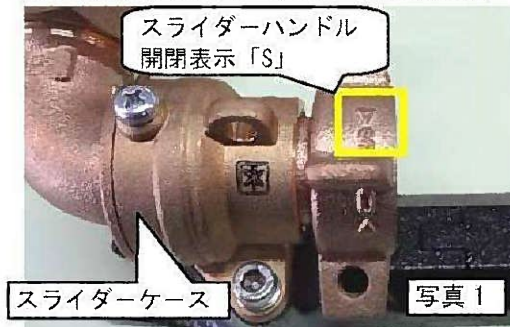
Oリングのサイズ表

呼び径	Oリングサイズ		材質	備考
13	PS-4/PS-5 兼用	P16 ×2 本	NBR 又は EPDM	「共」表示付製品と Oリングは同サイズ
20	PS-4/PS-5 兼用	P21 ×2 本	NBR 又は EPDM	Oリング1本の製品も有り Oリングは同サイズ
25	本型式の製品は無し			

### 使用工具

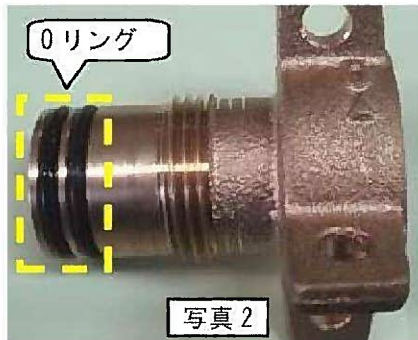
- ①(-)ドライバー：推奨サイズ 先端幅3~5.5 (細めの(-)ドライバー)

作業手順(PS-4/PS-5 共通)



手順1

- ・スライダーハンドルを表示の「S」方向へ回し、スライダーハンドルをスライダーケースから取り外します。(写真1)

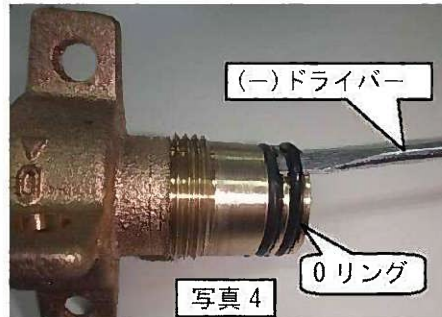


手順2

- ・スライダーハンドルの0リングを取り外して下さい。(写真2)
- ・0リングを手で溝から伸ばし取り外して下さい。(写真3)
- ・又は(-)ドライバー等を使用して0リング溝から取り外して下さい。(写真4)

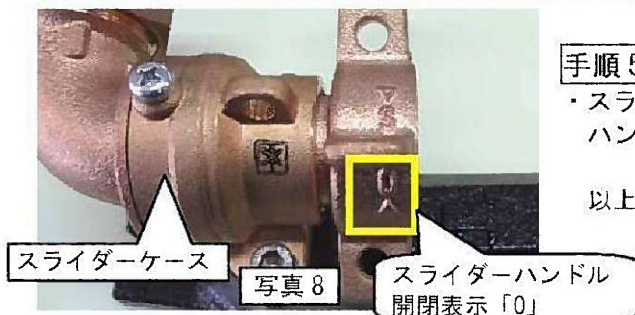
手順3

- ・0リングを取り外したスライダーハンドルの0リング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。(写真5)
- ・0リング溝に異物が付着している場合には、ペーパータオル等で清掃して下さい。



手順4

- ・新しい0リングをスライダーハンドルの0リング溝に取り付けます。(写真6)
- ・0リングを取付後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真7)



手順5

- ・スライダーハンドルを表示の「0」方向へ回し、スライダーハンドルをスライダーケースに取り付けます。(写真8)

以上で0リング交換作業の終了になります。

# メータセット PS3STK 呼び径 25 取扱説明書 給装工業(株)

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さいようお願い申し上げます。なお本取扱説明書は、大切に保管してください。

## 設置上の注意事項

- ① メータセット PS の取り付けのときは、保守点検操作のために必要な作業空間を確保してください。
- ② パイプシャフト内は、メータの取り付け、点検や交換時などの戻り水を考慮し、防水処理または、排水処理などの処置を講じて下さい。

## 配管上の注意事項

- ① 接続する配管は、洗浄・排水し、内部の異物を取り除いて、清浄な状態としてください。
- ② 配管接続前にメータセット PS を水平に設置して頂く為、コンクリート地面に墨入れした後、メータセット PS を取付ける位置へ、アンカーボルト又は全ねじボルトを埋めておいて下さい。推奨ねじの呼びは、W3/8 又は M10 です。(図 1 参照)
- ③ 配管取り付け後、仮止めしておいたメータセット PS をアンカーボルト又は全ねじボルトに、六角ナット及び座金を使用し、動かないように固定してください。(図 1 参照)
- ④ 配管は、メータセット PS へ無理な力が加わらない状態で接続して下さい。(フレキシブル継手等のご使用をお勧めします。)
- ⑤ 配管を接続する際、伸縮固定リングを外した場合には、配管後伸縮固定リングを必ず取り付けして下さい。

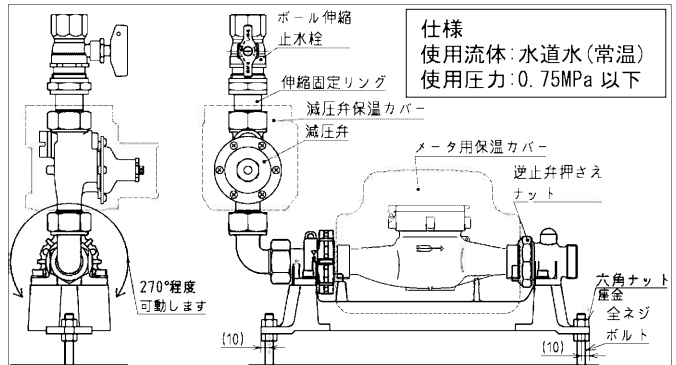


図 1

## ユニット組替え方法

メータセット PS GL 型の 1 次側はボール止水栓、減圧弁及びエルボで構成されています(図 1 参照)。各々は、袋ナットで接続、Oリング止水方式になっています。袋ナット及びOリングは、兼用になっていますので、用途に合わせ構成を組替えることができます。

図 2 に接続箇所を示します。図 3 に接続部の詳細、図 4 にストレートタイプへ組替えを行った場合を示します。

### 1. 接続部の取り外し方

- ① 袋ナットを緩め、取り外す。
- ② Oリングを外す。

### 2. 接続部の取り付け方(図 3 参照)

- ① Oリングにゴミ・キズ等無い事を確認し、オネジ側へ取り付けして下さい。
- ② 部品をまっすぐにゆくりと差し込む。この時、シリコン等の潤滑材をOリングに塗布すると付けやすく、キズも付き難くなります。

**⚠️ 部品を斜めに取り付けたり、無理に押し込むとOリングにキズが付き、漏水の原因となりますのでご注意ください。**

- ③ 工具を使用し、袋ナットをしっかり締め付けます。

**⚠️ 袋ナットをしっかり締め付けないと施工後に緩み、接続部からの漏水の原因となりますのでご注意ください。**

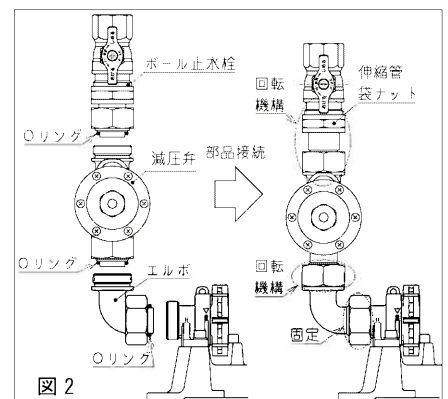


図 2

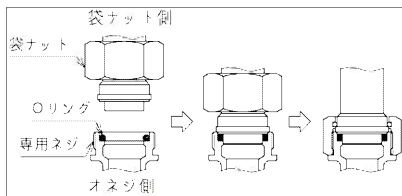


図 3

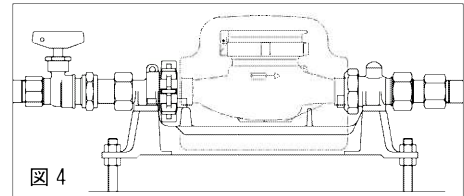


図 4

(減圧弁、エルボを外し、ストレートタイプへ組替え)

接続ネジは、専用ねじになっており、専用部品しか取り付けられません。

**⚠️ 上水ネジや都ネジ等の製品は使用できません。無理に付けようとするとネジが変形し、漏水の原因となりますのでおやめ下さい。**

### 3. 接続部の注意事項

- ① 接続部の袋ナット及び伸縮管袋ナットは、しっかり締め付けし出荷されます。一次側・二次側配管施工後再度締め付け確認をしてご使用下さい。(図 2 参照)
- ② 接続部は、袋ナットを締める事により固定される箇所と回転する箇所(回転機構)があります。接続箇所によって異なりますので、接続部の取り外し、取り付けを行う際はご注意ください。固定箇所: エルボ、回転機構を有する箇所: 減圧弁、ボール止水栓(図 2 参照)
- ③ 接続部の袋ナット及び伸縮管袋ナットを緩めた場合には、必ずしっかりと締め付けて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意ください。

1 型の 1 次側は、ボール止水栓のみに なります。

## 取り付け後の注意事項

- ① メータ代用管等を取り付け後、配管内を十分にフラッシングし、内部の異物を排出してください。
- ② 接続部の袋ナット及び逆止弁押さえナットが緩んでいた場合には、締め付けてください。
- ③ メータを取り付けるまでに、メータ取り付け部にゴミ等が入らないようにしてください。
- ④ メータ設置後、メータ用保温カバーを使用し、適切な保温・防寒施工してください。(メータ用保温カバーは別売となっております。)
- ⑤ ボール止水栓の使用圧力は、0.75MPa 以下です。

**⚠️ 閉の状態、0.75MPa を超える圧力を加えると、シート部の破損、止水不良の原因となります。**

## 水道メータの取り付け

- ① メータ圧着面にパッキンがしっかりとハマっている事を確認してください。(写真 1 参照)
- ② メータの流水方向とメータセット PS の流水方向を合わせ、取り付けしてください。
- ③ ハンドルを S (閉) 方向へ回し、メータ圧着面を前進させ、メータを確実に圧着させてください。
- ④ メータ取り付け後、メータ圧着部からの漏水等の異常が無い事を確認して下さい。
- ⑤ 異常の無い事を確認後、ハンドルは緩み防止の為、締める方向(S 方向)にハンドルとスライダーケースを結束バンド(インシュロック)で結んで下さい。(図 4 参照)

パッキン

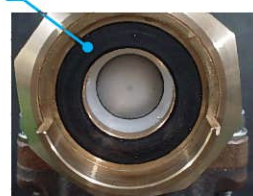


写真 1

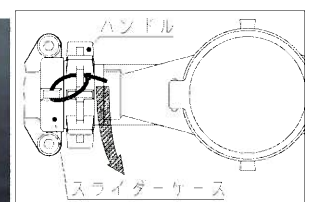


図 4

**水道メータの取り外し**

- ①結束バンドをハサミ等で切断する。
- ②ハンドルをO（開）方向へ回し、メータ圧着面を後退させ、メータを取り外してください。

⚠メータの取り付け、取り外しは、ボール止水栓を閉じてから行ってください。  
メータパッキンは事業者の仕様品、又は弊社メータパッキンをご使用下さい。

**ボール止水栓の操作**

- ①ボール止水栓のハンドルを反時計回りに90°回すと開栓します。ハンドルの向きは、流水方向と同軸上になります。(図5参照)
- ②ハンドルを時計回りに90°回すと閉栓します。ハンドルの向きは、流水方向と垂直になります。(図5参照)

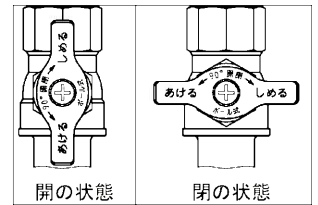


図5

⚠ボール止水栓は、中間開度で使用すると、弁体の摩耗、振動、騒音の発生を招く恐れがあり、**止水不良の原因となりますので、全開・全閉でご使用ください。**  
また、開閉操作はゆっくりと行って下さい。

**逆止弁のメンテナンス**

ボール止水栓を閉じ、メータを取り外すと逆止弁のメンテナンスが可能となります。

図6に逆止弁部の部品名称を示します。

- ①逆止弁押さえを流水方向に向かって左に回して取り外します。
- ②メータ受け及び逆止弁を取り外します。
- ③メータ受けに付いている場合、逆止弁を引き抜きます。(図7参照)  
(逆止機能の低下が懸念される場合には、逆止弁の交換をお勧めします。)

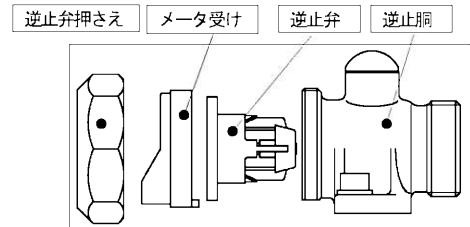


図6

- ④メータ受けに逆止弁をはめ、逆止胴に付ける。この時、メータ受けの回り止めと逆止胴の回り止めの位置を合わせてください。(図8参照)
- ⑤逆止弁押さえを逆止胴へ流水方向に向かって右に回し、取り付けて下さい。

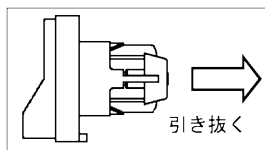


図7

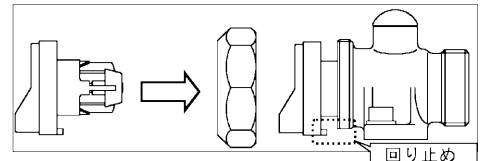


図8

⚠部品を付け忘れると漏水しますので十分注意してください。

**メータ接続器具の点検**

メータの接続方式は、ハンドルを回転・スライダを可動させ、メータを圧着して接続する方式です。

- ・ハンドルを、表示のS方向へ回し、スライダを取り外せます。スライダを外し、0リングの点検・交換が可能となります。(図9参照)
- ・スライド部の0リングに異常がある場合には、0リングを交換して下さい。
- ・0リングを交換し、異常がない事を確認後、ハンドルを表示のO方向に回し、スライダ再度とり付けます。
- ・スライダケースに「共」の表示がある製品(図10参照)は、下記のサイズの0リングを使用しています。

スライダケース 0リング ハンドル

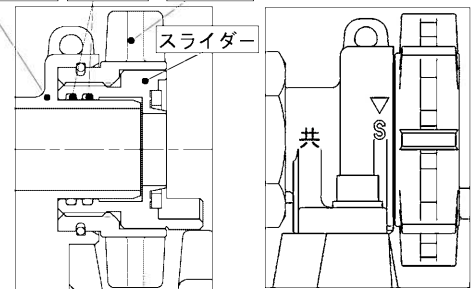


図9

図10

	呼び径 25	
0リングサイズ	内径 29.7	× 太さ 2.4 (JAS02030)

**減圧弁使用時の注意事項**

- ①出荷時には、テストプラグを取り付けたバイパス状態です。配管洗浄・耐圧検査は、テストプラグを装着した状態で行って下さい。
- ②洗浄・検査終了後は必ずテストプラグを外してご使用下さい。テストプラグの装着状態では減圧弁が作動しませんので、ご注意下さい。
- ③テストプラグは、保温カバーの収納スペースに保管して下さい。詳細は、同梱されている減圧弁の取扱説明書でご確認下さい。

**逆止胴へ圧力計取付け時の注意事項**

逆止胴の圧力計取付けねじは平行ねじ(G1/4)です。圧力計を取り付ける際は、平行ねじの圧力計にシールテープを巻いてご使用下さい。

プラグは、樹脂製プラグを使用した製品(図11参照)と金属製プラグを使用した製品があります。

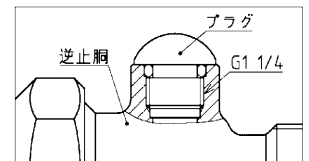


図11

⚠テーパーねじの圧力計を取り付ける場合は、ねじ込み過ぎにご注意下さい。テーパーねじの圧力計をねじ込み過ぎると逆止胴のめねじが変形し、再度プラグを取り付け後、漏水する場合がありますのでご注意下さい。  
逆止胴めねじの変形等により、本製品の樹脂プラグで止水出来なくなった場合には、市販の銅合金製又はステンレス製プラグ(R1/4)をご使用下さい。

**ライニング鋼管の配管施工法**

ボール止水栓のテーパーめねじ・管端防食コア無に、ライニング鋼管を接続する際は、別売りの管端防食コアを必ず使用して下さい。(図12参照)

- ①管端面は、必ず管軸と直角とし、バリ、カエリのない平滑な面に仕上げして下さい。
- ②スクレーパーなどで管内面の面取りを必ず行ってください。
- ③管のおねじ部、及び管端部に素地が隠れるまで防食シール剤を塗布して下さい。
- ④ボール止水栓のめねじに、鋼管がねじ込める程度まで、管端防食コアを手でねじ込んでください。
- ⑤管端防食コアをねじ込んだボール止水栓と、防食シール剤を塗布したライニング鋼管を接続して下さい。

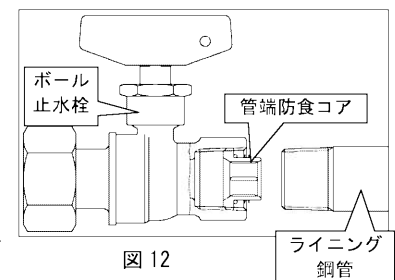


図12

お問合せ・ご用命は、下記へ



本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 Tel. (03)3716-1511(代表)  
http://www.qso.co.jp ISO 9001、ISO 14001 認証取得

※当取扱説明書は、製品改良のため変更することがあります。

No. M0092 (2版)

# メータセット PS5TK 取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さいますようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。

**仕様** 使用流体：水道水(常温)、使用圧力：0.75MPa 以下

## 設置上の注意事項

- ① メータセットの設置の際、保守点検操作のために必要な作業空間を確保して下さい。
- ② パイプシャフト内は、メータの取り付け、点検や交換時などの戻り水を考慮し、防水処理または、排水処理などの処置を講じて下さい。

## 配管上の注意事項

- ① 接続する配管は、洗浄・排水し、内部の異物を取り除いて、清浄な状態として下さい。
- ② 配管接続前にメータセットを水平に設置するため、コンクリート地面に墨入れした後、メータセットを取付ける位置へ、アンカーボルト又は全ねじボルトを埋めておいて下さい。推奨ねじの呼びは、W3/8又はM10です。(図1参照)
- ③ ボルトにメータセットを仮固定し、配管を接続します。配管接続後、メータセットを水平にして、アンカーボルト又は全ねじボルトに六角ナット及び座金を使用し、動かないように固定して下さい。(図1参照)
- ④ 配管は、メータセットへ無理な力が加わらない状態で接続して下さい。(フレキシブル継手等のご使用をお勧めします。)
- ⑤ 部品の点検、メンテナンス以外には、製品の分解はしないで下さい。
- ⑥ ボール伸縮止水栓で配管接続の際に、ボール伸縮止水栓の伸縮固定リングを外した場合は、配管接続後に、伸縮固定リングを必ず取り付けて下さい。

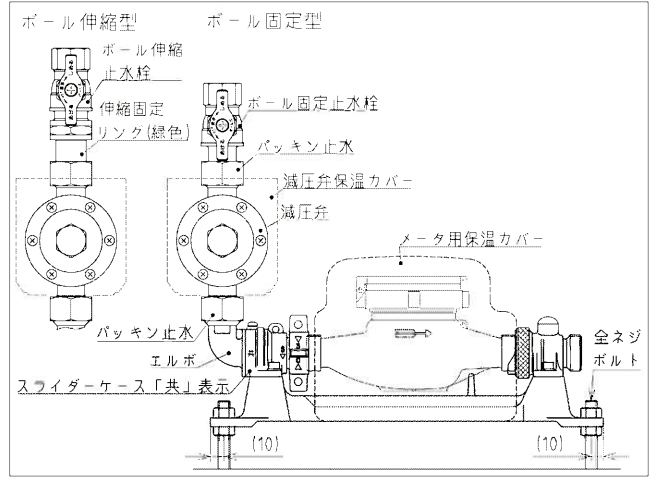


図 1

## 配管接続

メータセット GL 型の 1 次側はボール止水栓、減圧弁及びエルボで構成されています。(図1参照) 各々は、袋ナット接続、パッキン止水方式になっています。

- ① 配管接続時には、給水管の 1 次側から配管を接続して下さい。
- ② 配管の流水方向を確認し、ボール止水栓、減圧弁の接続を行って下さい。
- ③ エルボ固定用ビスを緩めると任意の角度にエルボを動かす事が出来ます。  
**エルボ固定用ビスは、エルボの位置を決めた後、必ずドライバーで締付け、エルボの固定を行って下さい。**



**必ずエルボ固定用ビスを緩めた状態で、エルボを可動させて下さい。**  
**エルボ固定用ビスを紛失してしまうと配管の固定が出来なくなりますので、ご注意下さい。**

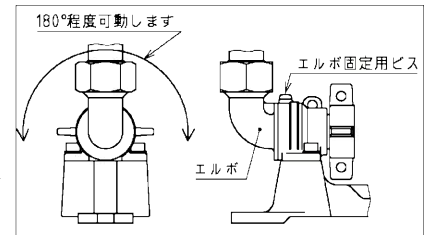


図 2

- ④ 接続部の袋ナットは、必ずしっかりと締めて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意下さい。
- ⑤ ボール伸縮止水栓の伸縮管袋ナット(止水栓側)を緩めた場合には、必ずしっかりと締めて下さい。袋ナットが緩んでいると漏水の原因となりますので、ご注意下さい。
- ⑥ 1 次側配管が鋼管の場合には、ボール止水栓・テーパめねじに管端コアを取り付けてご使用下さい。

## 取り付け後の注意事項

- ① メータ代用管等を取り付け後、配管内を十分にフラッシングし、内部の異物を排出して下さい。
- ② メータを設置するまでに、メータ取り付け部に異物が入らないようにして下さい。
- ③ メータ設置後、メータ用保温カバー等を使用し、適切な保温・防寒施工をして下さい。(メータ用保温カバーは別売となります。)
- ④ ボール止水栓の使用圧力は、0.75MPa 以下です。

**!** 閉の状態、0.75MPa を超える圧力を加えると、シート部の破損、止水不良の原因となります。

## 水道メータの取り付け

- ① メータ受けとスライダーハンドルのメータ圧着面の両側にパッキンがしっかりとハマっている事を確認して下さい。(写真1参照)
- ② メータの流水方向とメータセットの流水方向を合わせ、取り付けして下さい。
- ③ ハンドルをS(閉)方向へ回し、メータ圧着面を前進させ、メータを確実に圧着させて下さい。
- ④ メータ取付け後、メータ圧着部からの漏水等の異常が無い事を確認して下さい。
- ⑤ 異常の無い事を確認後、ハンドルは緩み防止の為、締める方向(S方向)にスライダーハンドルとスライダーケースを結束バンド(インシュロック)で結んで下さい。(図3参照)

パッキン

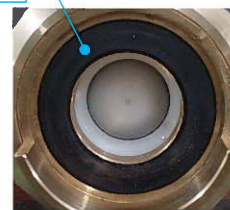


写真 1

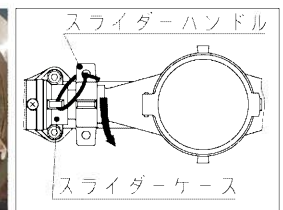


図 3

## 水道メータの取り外し

- ① 結束バンドをハサミ等で切断して下さい。
- ② スライダーハンドルをO(開)方向へ回し、メータ圧着面を後退させ、メータを取り外して下さい。(図4参照)

**!** メータの取り付け、取り外しは、ボール止水栓を閉じてから行って下さい。

呼び径	パッキン寸法(外径×内径×厚さ)	推奨品
13	φ23~24×φ14~14.5×3	弊社メータパッキン
20	φ30~30.5×φ21×3	

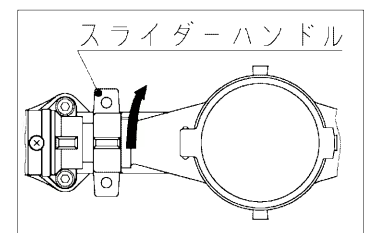


図 4

**ボール止水栓の操作**

- ① ボール止水栓のハンドルを反時計回りに90°回すと開栓します。ハンドルの向きは、流水方向と同軸上になります。(図6参照)
- ② ハンドルを時計回りに90°回すと閉栓します。ハンドルの向きは、流水方向と垂直になります。(図5参照)

**⚠** ボール止水栓は、中間開度で使用すると、弁体の摩耗、振動、騒音の発生を招く恐れがあり、止水不良の原因となりますので、全開・全閉でご使用ください。また、開閉操作はゆっくりと行って下さい。

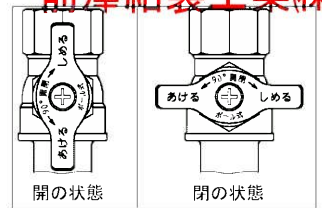


図5

**メータ接続器具の点検**

- メータの接続方式は、スライダハンドルを回転・可動させ、メータを圧着して接続する方式です。(図6参照)
- ・スライダハンドルは、表示S方向へ回し、スライダケースから取り外せます。スライダハンドルを外し、Oリングの点検・交換が可能となります。
  - ・スライド部のOリングに異常がある場合には、Oリングを交換して下さい。
  - ・Oリングを交換し、異常がない事を確認後、スライダハンドルを表示の0方向に回し、再度とり付けます。
  - ・スライダケースに「共」表示がある製品(図7参照)は、下記のサイズのOリングを使用しています。

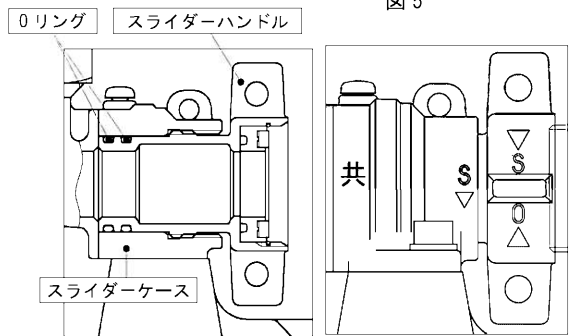


図6

図7 「共」表示例

	呼び径 13	呼び径 20
Oリングサイズ	内径 15.8 × 太さ 2.4 (P16)	内径 23.3 × 太さ 2.4 (JAS02023)

**逆止弁のメンテナンス**

ボール止水栓を閉じ、メータを取り外すと逆止弁のメンテナンスが可能となります。図8に逆止弁部の部品名称を示します。

- ① 逆止弁押さえを流水方向に向かって左に回して取り外します。
- ② メータ受け及び逆止弁を取り外します。
- ③ メータ受けから、逆止弁を引き抜きます。(図9参照)  
(逆止機能の低下が懸念される場合には、逆止弁の交換をお勧めします。)
- ④ メータ受けにOリングが付いている事を確認し、逆止弁をはめ、逆止胴に付ける。この時、メータ受けの回り止めと逆止胴の回り止めの位置を合わせて下さい。(図10参照)

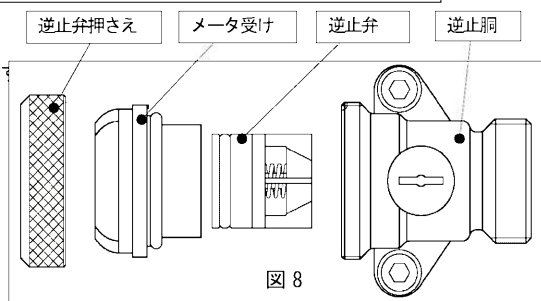


図8

**⚠** メータ受けと逆止胴の回り止め位置が合わないとき正規の位置に取り付けられず漏水の原因となります。

- ⑤ 逆止弁押さえを逆止胴へ流水方向に向かって右に回し、取り付けて下さい。

**⚠** 部品を付け忘れると漏水しますので十分注意して下さい。

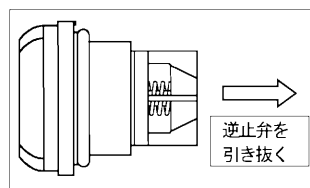


図9

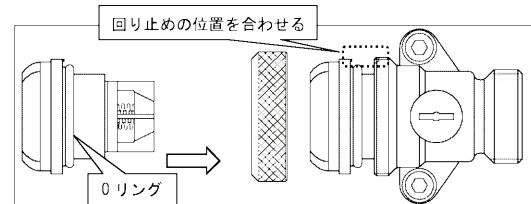


図10

**減圧弁使用時の注意事項**

- ① 出荷時は、テストジグを取り付けたバイパス状態で出荷されます。配管洗浄・耐圧検査は、テストジグを装着し、行って下さい。
  - ② 洗浄・施工検査終了後には必ずテストジグを外してご使用下さい。
- ⚠** テストジグの装着状態では減圧弁が作動しませんので、ご注意下さい。詳細は、同梱されている減圧弁の取扱説明書でご確認下さい。

**逆止胴へ圧力計取付け時の注意事項**

逆止胴の圧力計取付けねじは平行ねじ(G1/4)です。圧力計を取り付ける際は、平行ねじの圧力計にシールテープを巻いてご使用下さい。

プラグは、樹脂製プラグを使用した製品(図11参照)と金属製プラグを使用した製品があります。

- ⚠** テーパーねじの圧力計を取り付ける場合は、ねじ込み過ぎにご注意下さい。テーパーねじの圧力計をねじ込み過ぎると逆止胴のめねじが変形し、再度プラグを取り付け後、漏水する場合がありますのでご注意下さい。逆止胴めねじの変形等により、本製品の樹脂プラグで止水出来なくなった場合には、市販の銅合金製又はステンレス製プラグ(R1/4)をご使用下さい。

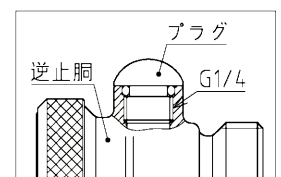


図11

**ライニング鋼管の配管施工法**

ボール止水栓のテーパーめねじ・管端防食コア無に、ライニング鋼管を接続する際は、別売りの管端防食コアを必ず使用して下さい。(図12参照)

- ① 管端面は、必ず管軸と直角とし、バリ、カエリのない平滑な面に仕上げして下さい。
- ② スクレーパーなどで管内面の面取りを必ず行ってください。
- ③ 管のおねじ部、及び管端部に素地が隠れるまで防食シール剤を塗布して下さい。
- ④ ボール止水栓のめねじに、鋼管がねじ込める程度まで、管端防食コアを手でねじ込んでください。
- ⑤ 管端防食コアをねじ込んだボール止水栓と、防食シール剤を塗布したライニング鋼管を接続して下さい。

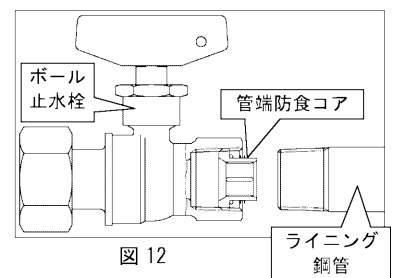


図12